

## 取組27 環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献



### 取組概要

地球温暖化に代表されるように、地球規模での環境変化が深刻な問題となっています。将来にわたって持続可能な地域社会を実現するため、環境と産業や社会との良好な関係の構築を目指します。

### 平成22年度の主な取組

- 県民及び事業者の環境配慮行動を促進するため、積極的な環境配慮行動を自ら宣言する「みやぎe行動(eco do!)宣言」登録を行ったり、「エコドライブ(アイドリングストップや、急発進、急加速の抑制等、環境に配慮した自動車運転)」の実践を広く県民に呼び掛けています。
- 自然エネルギーの導入や省エネルギーの促進により、化石燃料の使用を抑制し、持続可能な地域社会を構築するため、環境負荷のより少ない自動車の普及策を検討する研究会を立ち上げました。
- 環境と経済の両立を目指す「クリーンエネルギーみやぎ創造プラン」に基づき、クリーンエネルギー関連産業の誘致や振興を図る取組や、県内事業所の省エネルギー設備導入への補助を行っています。
- 地域における環境保全に関する取組を一層推進するため、国の地域グリーンニューディール基金を活用し、公共施設の省エネ化などを実施する市町村などに財政的支援を行っています。
- 県産材生産供給の拡大を図り、再生産可能な循環型バイオマス(生物由来の再生可能な有機性資源で、化石資源を除いたもの)の有効利用システムを構築していくため、これまで利用されてこなかった木質バイオマス(林地残材)の搬出を支援しています。

**【認知度】** (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は45.6%、「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は54.3%である。

■性別

男性の『高認知群』は51.0%で、県全体より5.4ポイント高い。

女性の『高認知群』は40.8%で、県全体より4.8ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高認知群』は46.2%で、県全体より0.6ポイント高い。

65歳以上の『高認知群』は45.1%で、県全体より0.5ポイント低い。

■圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-27-1 取組27 認知度割合(属性別)

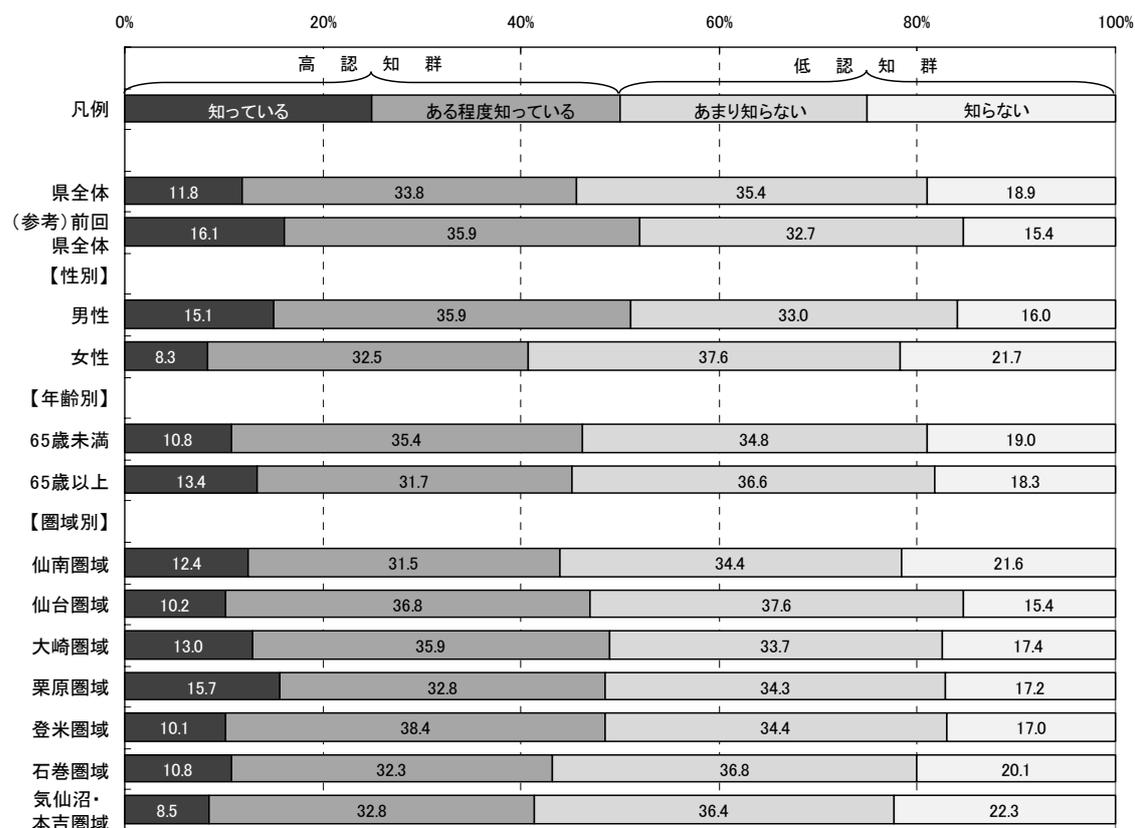


表2-2-27-1 取組27 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度知っている	あまり知らない	知らない	合計		
県全体	度数	231	661	692	370	1,954	99	2,053
	パーセント	11.8	33.8	35.4	18.9	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	297	663	604	285	1,849	95	1,944
	パーセント	16.1	35.9	32.7	15.4	100.0		
【性別】								
男性	度数	137	325	299	145	906	43	949
	パーセント	15.1	35.9	33.0	16.0	100.0		
女性	度数	82	321	371	214	988	43	1,031
	パーセント	8.3	32.5	37.6	21.7	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	136	445	437	239	1,257	40	1,297
	パーセント	10.8	35.4	34.8	19.0	100.0		
65歳以上	度数	84	199	230	115	628	45	673
	パーセント	13.4	31.7	36.6	18.3	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	30	76	83	52	241	9	250
	パーセント	12.4	31.5	34.4	21.6	100.0		
仙台圏域	度数	27	98	100	41	266	10	276
	パーセント	10.2	36.8	37.6	15.4	100.0		
大崎圏域	度数	35	97	91	47	270	17	287
	パーセント	13.0	35.9	33.7	17.4	100.0		
栗原圏域	度数	43	90	94	47	274	13	287
	パーセント	15.7	32.8	34.3	17.2	100.0		
登米圏域	度数	28	106	95	47	276	8	284
	パーセント	10.1	38.4	34.4	17.0	100.0		
石巻圏域	度数	29	87	99	54	269	10	279
	パーセント	10.8	32.3	36.8	20.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	21	81	90	55	247	9	256
	パーセント	8.5	32.8	36.4	22.3	100.0		

**【関心度】** (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は71.1%、  
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は29.0%である。

■性別

男性の『高関心群』は77.1%で、県全体より6.0ポイント高い。

女性の『高関心群』は65.7%で、県全体より5.4ポイント低い。

■年齢別

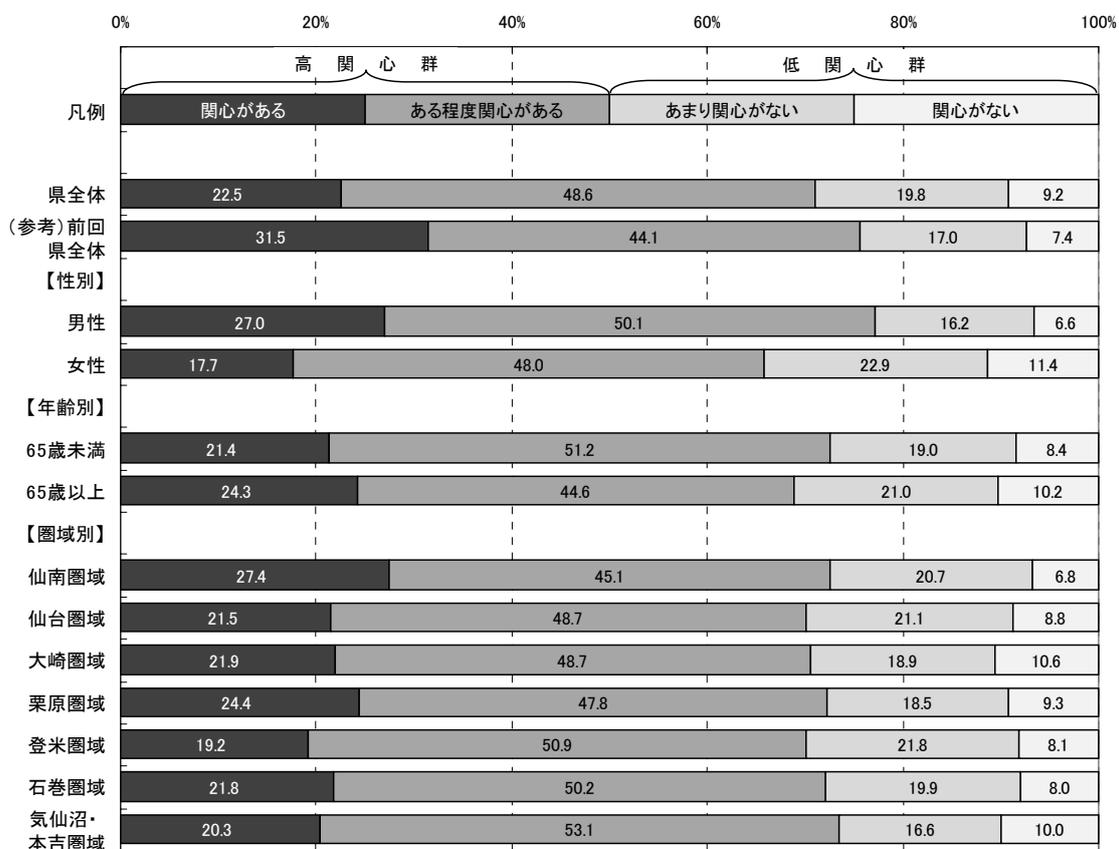
65歳未満の『高関心群』は72.6%で、県全体より1.5ポイント高い。

65歳以上の『高関心群』は68.9%で、県全体より2.2ポイント低い。

■圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-27-2 取組27 関心度割合(属性別)



取組27 「環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献」

表2-2-27-2 取組27 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	430	928	378	175	1,911	142	2,053
	パーセント	22.5	48.6	19.8	9.2	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	571	801	309	134	1,815	129	1,944
	パーセント	31.5	44.1	17.0	7.4	100.0		
【性別】								
男性	度数	240	445	144	59	888	61	949
	パーセント	27.0	50.1	16.2	6.6	100.0		
女性	度数	171	464	221	110	966	65	1,031
	パーセント	17.7	48.0	22.9	11.4	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	265	634	236	104	1,239	58	1,297
	パーセント	21.4	51.2	19.0	8.4	100.0		
65歳以上	度数	147	270	127	62	606	67	673
	パーセント	24.3	44.6	21.0	10.2	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	65	107	49	16	237	13	250
	パーセント	27.4	45.1	20.7	6.8	100.0		
仙台圏域	度数	56	127	55	23	261	15	276
	パーセント	21.5	48.7	21.1	8.8	100.0		
大崎圏域	度数	58	129	50	28	265	22	287
	パーセント	21.9	48.7	18.9	10.6	100.0		
栗原圏域	度数	66	129	50	25	270	17	287
	パーセント	24.4	47.8	18.5	9.3	100.0		
登米圏域	度数	52	138	59	22	271	13	284
	パーセント	19.2	50.9	21.8	8.1	100.0		
石巻圏域	度数	57	131	52	21	261	18	279
	パーセント	21.8	50.2	19.9	8.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	49	128	40	24	241	15	256
	パーセント	20.3	53.1	16.6	10.0	100.0		

**【重視度】** (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は70.2%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は9.2%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が88.4%、『低重視群』は11.5%となる。

■性別

男性の『高重視群』は75.1%で、県全体より4.9ポイント高い。

女性の『高重視群』は66.2%で、県全体より4.0ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は71.8%で、県全体より1.6ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は68.3%で、県全体より1.9ポイント低い。

■圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-27-3 取組27 重視度割合(属性別)

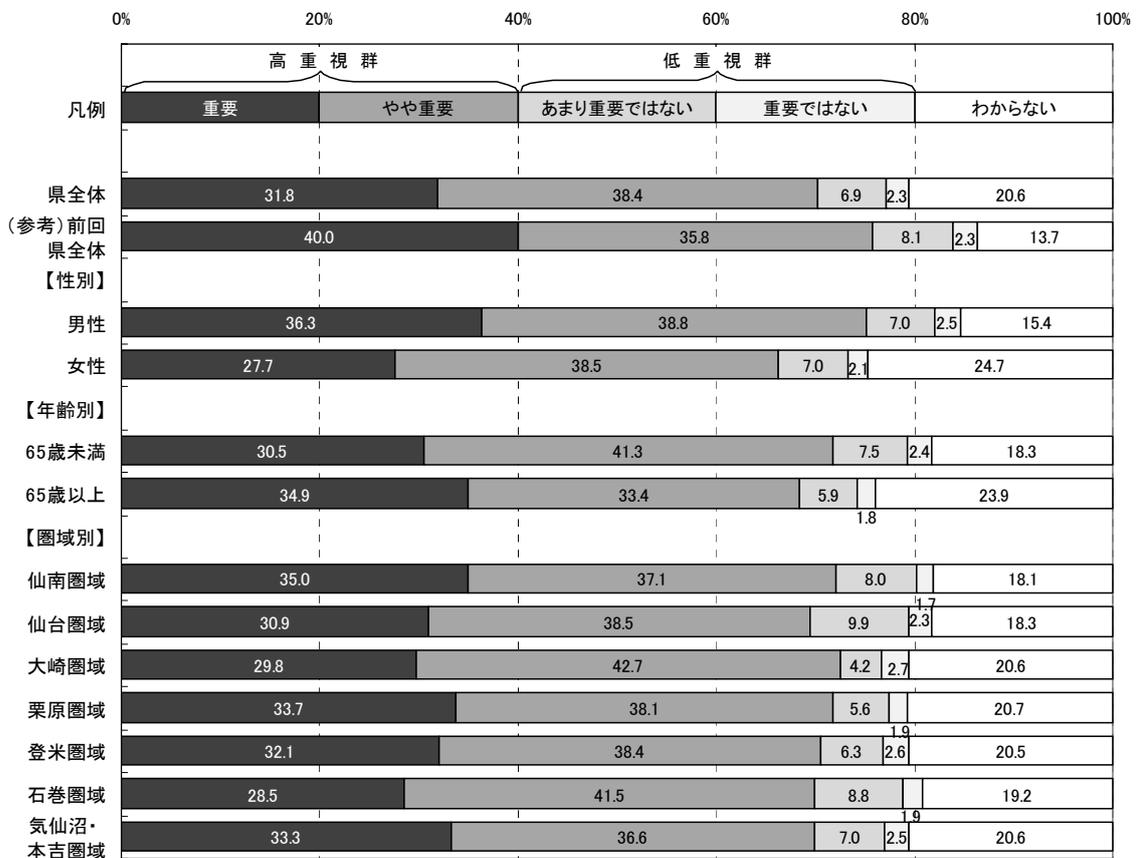


表2-2-27-3 取組27 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	607	731	132	43	393	1,906	147	2,053
	パーセント	31.8	38.4	6.9	2.3	20.6	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	40.1	48.3	8.7	2.8		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	724	648	147	42	248	1,809	135	1,944
	パーセント	40.0	35.8	8.1	2.3	13.7	100.0		
【性別】									
男性	度数	321	343	62	22	136	884	65	949
	パーセント	36.3	38.8	7.0	2.5	15.4	100.0		
女性	度数	267	372	68	20	238	965	66	1,031
	パーセント	27.7	38.5	7.0	2.1	24.7	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	379	513	93	30	227	1,242	55	1,297
	パーセント	30.5	41.3	7.5	2.4	18.3	100.0		
65歳以上	度数	209	200	35	11	143	598	75	673
	パーセント	34.9	33.4	5.9	1.8	23.9	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	83	88	19	4	43	237	13	250
	パーセント	35.0	37.1	8.0	1.7	18.1	100.0		
仙台圏域	度数	81	101	26	6	48	262	14	276
	パーセント	30.9	38.5	9.9	2.3	18.3	100.0		
大崎圏域	度数	78	112	11	7	54	262	25	287
	パーセント	29.8	42.7	4.2	2.7	20.6	100.0		
栗原圏域	度数	91	103	15	5	56	270	17	287
	パーセント	33.7	38.1	5.6	1.9	20.7	100.0		
登米圏域	度数	86	103	17	7	55	268	16	284
	パーセント	32.1	38.4	6.3	2.6	20.5	100.0		
石巻圏域	度数	74	108	23	5	50	260	19	279
	パーセント	28.5	41.5	8.8	1.9	19.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	81	89	17	6	50	243	13	256
	パーセント	33.3	36.6	7.0	2.5	20.6	100.0		

**【満足度】** (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は39.2%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は21.6%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が64.4%、『不満群』は35.6%となる。

■性別

男性の『満足群』は42.1%で、県全体より2.9ポイント高い。

女性の『満足群』は37.2%で、県全体より2.0ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は37.7%で、県全体より1.5ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は44.3%で、県全体より5.1ポイント高い。

■圏域別

栗原圏域の『満足群』は45.1%で、県全体より5.9ポイント高い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-27-4 取組27 満足度割合(属性別)

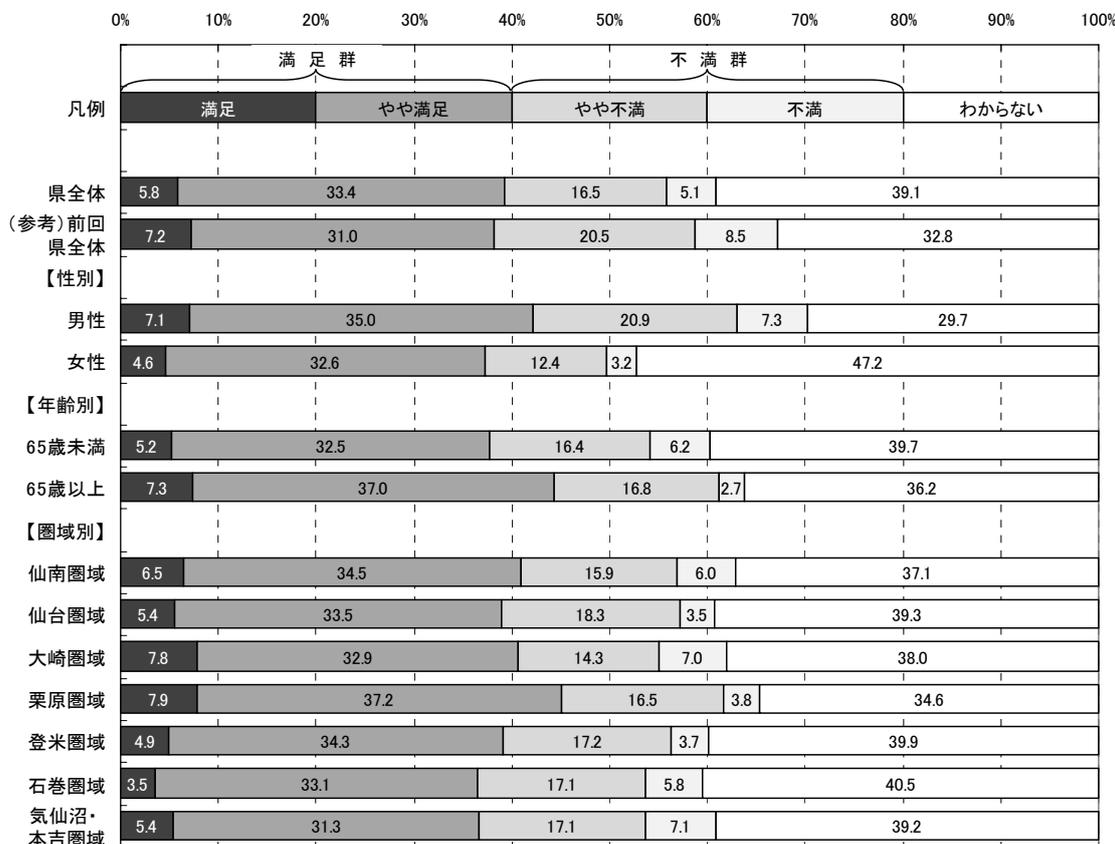


表2-2-27-4 取組27 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	110	630	312	97	737	1,886	167	2,053
	パーセント	5.8	33.4	16.5	5.1	39.1	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	9.6	54.8	27.2	8.4		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	129	552	365	152	584	1,782	162	1,944
	パーセント	7.2	31.0	20.5	8.5	32.8	100.0		
【性別】									
男性	度数	62	307	183	64	260	876	73	949
	パーセント	7.1	35.0	20.9	7.3	29.7	100.0		
女性	度数	44	310	118	30	449	951	80	1,031
	パーセント	4.6	32.6	12.4	3.2	47.2	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	64	399	202	76	488	1,229	68	1,297
	パーセント	5.2	32.5	16.4	6.2	39.7	100.0		
65歳以上	度数	43	218	99	16	213	589	84	673
	パーセント	7.3	37.0	16.8	2.7	36.2	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	15	80	37	14	86	232	18	250
	パーセント	6.5	34.5	15.9	6.0	37.1	100.0		
仙台圏域	度数	14	86	47	9	101	257	19	276
	パーセント	5.4	33.5	18.3	3.5	39.3	100.0		
大崎圏域	度数	20	85	37	18	98	258	29	287
	パーセント	7.8	32.9	14.3	7.0	38.0	100.0		
栗原圏域	度数	21	99	44	10	92	266	21	287
	パーセント	7.9	37.2	16.5	3.8	34.6	100.0		
登米圏域	度数	13	92	46	10	107	268	16	284
	パーセント	4.9	34.3	17.2	3.7	39.9	100.0		
石巻圏域	度数	9	85	44	15	104	257	22	279
	パーセント	3.5	33.1	17.1	5.8	40.5	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	13	75	41	17	94	240	16	256
	パーセント	5.4	31.3	17.1	7.1	39.2	100.0		

## 【特に優先すべきと思う項目】

取組 27 に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア グリーン購入やエコドライブなど、県民や民間、市町村などが、日常的に、環境に配慮して行動できるようにするための普及啓発の促進
- イ 地域特性を生かした自然エネルギーの導入促進や、県民や事業者が一体となった省エネルギー活動などの地球温暖化対策の推進
- ウ 県が事業を行う場合の物品購入や入札で、環境に配慮した活動を行う企業や製品を優遇するなどの率先行動の実施
- エ 農林水産業の多面的機能に注目した取組支援と環境に優しい農林業の普及
- オ 風力、太陽光など、地球環境に優しいクリーンエネルギー関連産業の誘致及び振興とそうした社会の実現を目指した先導的なプロジェクトへの取組

(参考: 目標とする宮城の姿)

- さまざまな場面で多くの県民が環境について考え、行動するようになっています。
- 日常生活や事業活動では、省エネルギーや自然エネルギーの利用など、エネルギーを効率的に利用する取組が進んでいます。
- 企業は社会的責任を意識し、環境を重視した経営を行っています。消費者は環境に配慮した製品やサービス、農林水産物を選んで購入しています。
- さまざまな団体が連携・協力しながら環境を守る活動をしています。また、環境を重視する企業や環境に関連する産業が成長し、環境負荷の少ない社会づくりと経済発展の両立が進んでいます。

### <概要>

■県全体及び属性別（性別・年齢別・圏域別）の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ア	オ	ア	オ	イ
第2位:	オ	ア	オ	ア	ア
第3位:	イ	イ	イ	イ	オ

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	オ	ア	ア	ア	ア	オ	イ
第2位:	ア	オ	オ	オ	オ	ア	アオ
第3位:	イ	イ	イ	イ	イ	イ	-

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-27-5 取組27 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

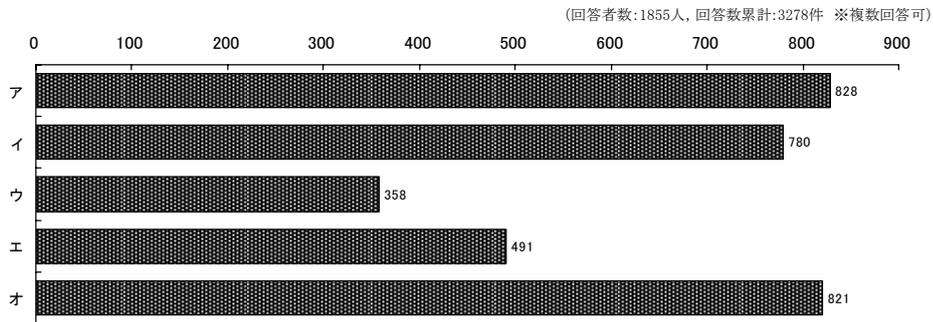
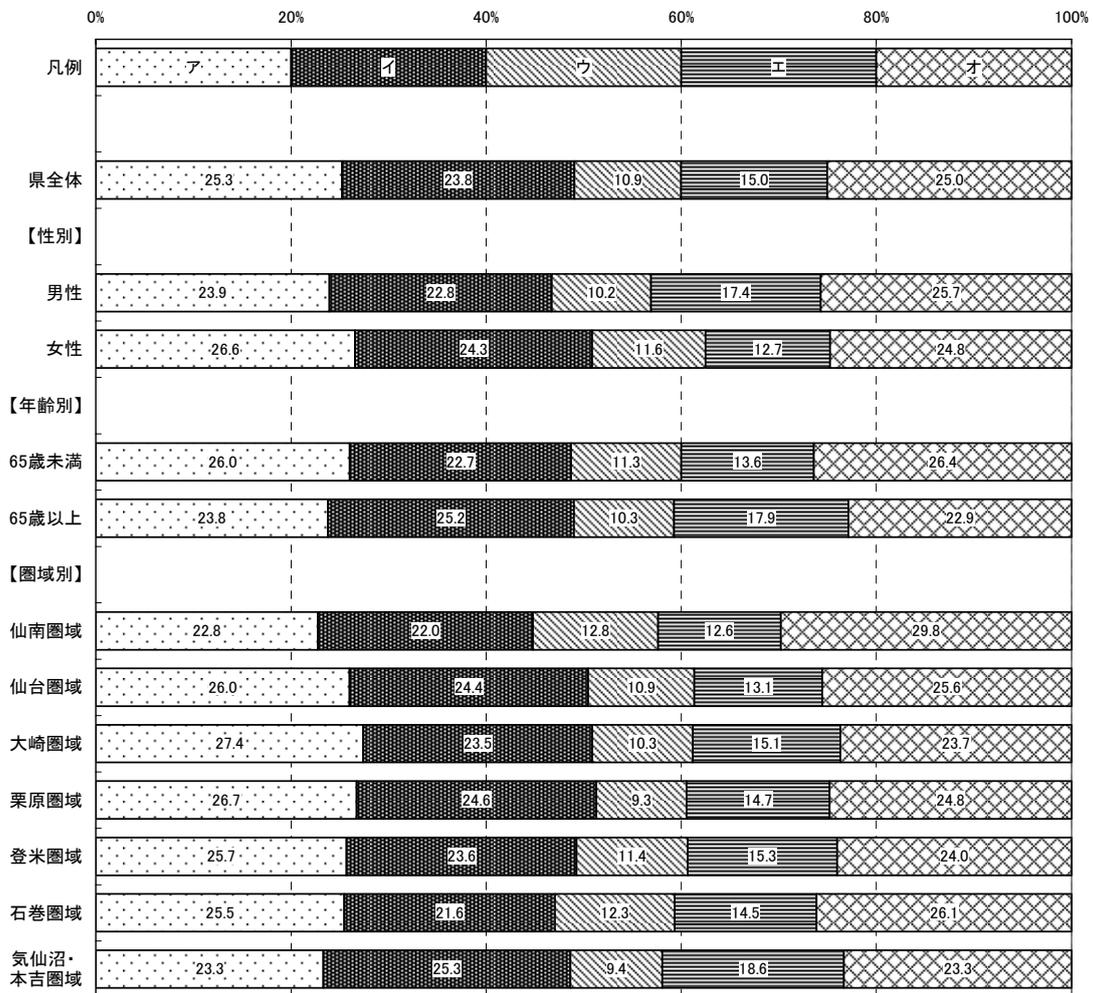


図2-2-27-6 取組27 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※ 本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組27 「環境に配慮した社会経済システムの構築と  
地球環境保全への貢献」

## 取組 28 廃棄物等の3R(発生抑制・再利用・再生利用)と適正処理の推進



### 取組概要

大量生産・大量消費・大量廃棄型の従来社会のあり方は、廃棄物排出量の増大や環境汚染などさまざまな環境問題を発生させてきました。県は、適正処理の推進にとどまらず、資源を有効に活用し、廃棄物をリサイクルして環境にできるだけ負担をかけない循環型社会の実現を目指します。

### 平成22年度の主な取組

- 廃棄物の発生から処理及びリサイクルについての一連の過程について、施設を見学してもらい3Rの大切さを学んでもらうため、小学生等を対象に「R(ある)・R(ある)探検隊バスツアー」を行っています。
- 暮らしの中で身近な行動である「買い物」の際に、「レジ袋をもらわない」とこととする取組として、10月の「3R推進月間」に「マイ・バッグ・キャンペーン」を行いました。
- 資源循環コーディネーターを企業に派遣して、廃棄物の3Rなどの環境関連情報を提供したり、助言を行うなど、地域における企業の3R活動の支援を行っています。  
[成果等] 派遣回数 253回(平成22年9月末現在)
- 廃棄物の3Rを進めるために設備を整備する場合や技術的な課題によりリサイクルが困難な産業廃棄物の3Rを進めるための技術開発を行う場合、その事業者等に対して補助金を交付しています。
- 産業廃棄物処理施設・業者に対する監視指導や産廃Gメンによるパトロールを強化し、悪質な違反行為には厳しく対処しています。また、処理ルールの周知徹底など不適正処理の未然防止にも努めています。

**【認知度】** (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は65.6%、  
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は34.4%である。

■性別

男性の『高認知群』は64.9%で、県全体より0.7ポイント低い。

女性の『高認知群』は66.2%で、県全体より0.6ポイント高い。

■年齢別

65歳未満の『高認知群』は61.8%で、県全体より3.8ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は73.4%で、県全体より7.8ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-28-1 取組28 認知度割合(属性別)

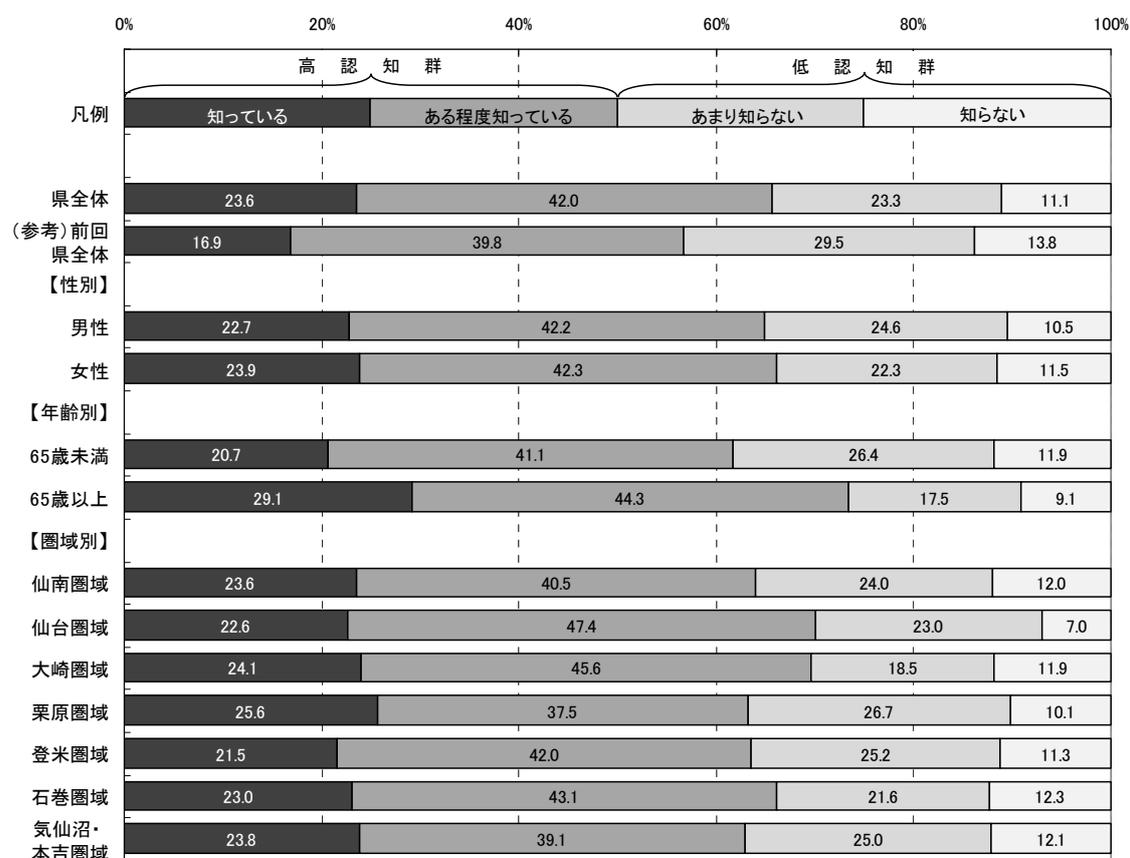


表2-2-28-1 取組28 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	463	825	457	217	1,962	91	2,053
	パーセント	23.6	42.0	23.3	11.1	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	313	738	547	255	1,853	91	1,944
	パーセント	16.9	39.8	29.5	13.8	100.0		
【性別】								
男性	度数	207	384	224	96	911	38	949
	パーセント	22.7	42.2	24.6	10.5	100.0		
女性	度数	236	418	221	114	989	42	1,031
	パーセント	23.9	42.3	22.3	11.5	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	261	519	333	150	1,263	34	1,297
	パーセント	20.7	41.1	26.4	11.9	100.0		
65歳以上	度数	183	278	110	57	628	45	673
	パーセント	29.1	44.3	17.5	9.1	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	57	98	58	29	242	8	250
	パーセント	23.6	40.5	24.0	12.0	100.0		
仙台圏域	度数	61	128	62	19	270	6	276
	パーセント	22.6	47.4	23.0	7.0	100.0		
大崎圏域	度数	65	123	50	32	270	17	287
	パーセント	24.1	45.6	18.5	11.9	100.0		
栗原圏域	度数	71	104	74	28	277	10	287
	パーセント	25.6	37.5	26.7	10.1	100.0		
登米圏域	度数	59	115	69	31	274	10	284
	パーセント	21.5	42.0	25.2	11.3	100.0		
石巻圏域	度数	62	116	58	33	269	10	279
	パーセント	23.0	43.1	21.6	12.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	59	97	62	30	248	8	256
	パーセント	23.8	39.1	25.0	12.1	100.0		

**【関心度】** (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は84.1%、  
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は15.8%である。

■性別

男性の『高関心群』は84.0%で、県全体より0.1ポイント低い。  
女性の『高関心群』は84.4%で、県全体より0.3ポイント高い。

■年齢別

65歳未満の『高関心群』は82.6%で、県全体より1.5ポイント低い。  
65歳以上の『高関心群』は87.5%で、県全体より3.4ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-28-2 取組28 関心度割合(属性別)

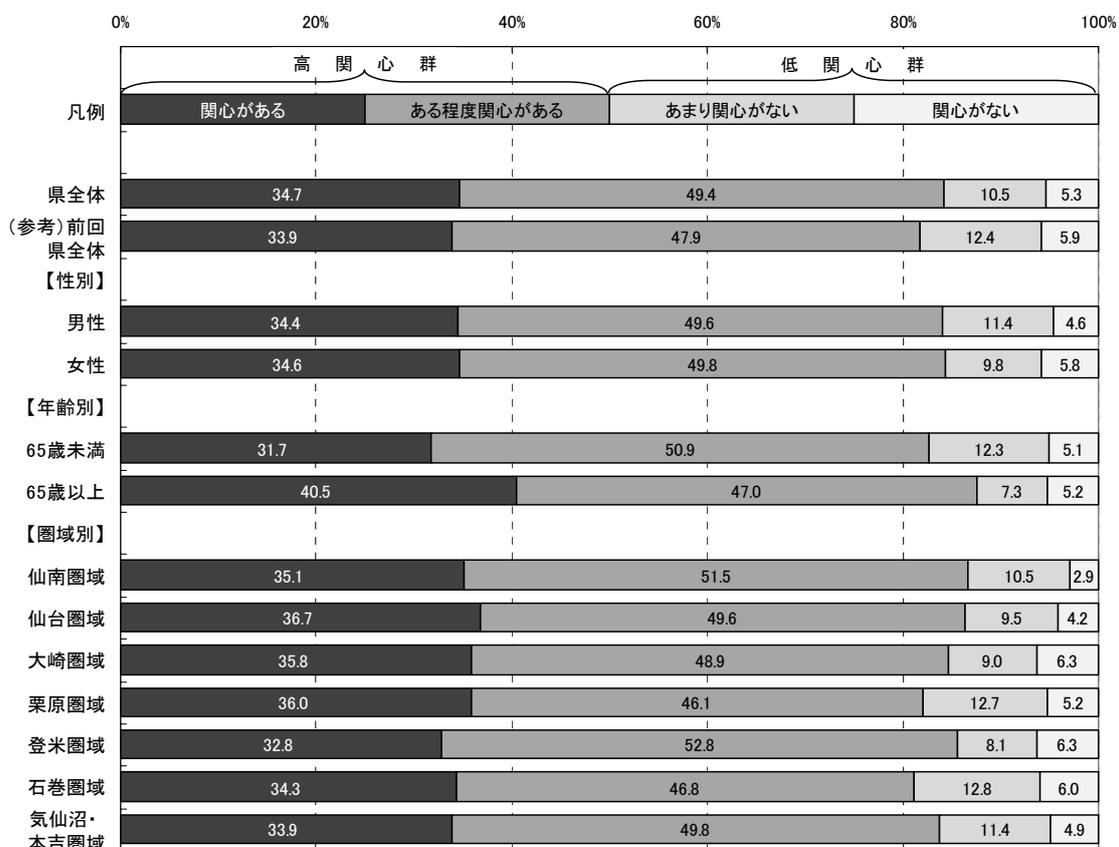


表2-2-28-2 取組28 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	669	952	203	102	1,926	127	2,053
	パーセント	34.7	49.4	10.5	5.3	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	615	869	225	107	1,816	128	1,944
	パーセント	33.9	47.9	12.4	5.9	100.0		
【性別】								
男性	度数	310	446	103	41	900	49	949
	パーセント	34.4	49.6	11.4	4.6	100.0		
女性	度数	335	482	95	56	968	63	1,031
	パーセント	34.6	49.8	9.8	5.8	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	394	632	153	63	1,242	55	1,297
	パーセント	31.7	50.9	12.3	5.1	100.0		
65歳以上	度数	250	290	45	32	617	56	673
	パーセント	40.5	47.0	7.3	5.2	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	84	123	25	7	239	11	250
	パーセント	35.1	51.5	10.5	2.9	100.0		
仙台圏域	度数	97	131	25	11	264	12	276
	パーセント	36.7	49.6	9.5	4.2	100.0		
大崎圏域	度数	96	131	24	17	268	19	287
	パーセント	35.8	48.9	9.0	6.3	100.0		
栗原圏域	度数	96	123	34	14	267	20	287
	パーセント	36.0	46.1	12.7	5.2	100.0		
登米圏域	度数	89	143	22	17	271	13	284
	パーセント	32.8	52.8	8.1	6.3	100.0		
石巻圏域	度数	91	124	34	16	265	14	279
	パーセント	34.3	46.8	12.8	6.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	83	122	28	12	245	11	256
	パーセント	33.9	49.8	11.4	4.9	100.0		

**【重視度】** (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は82.0%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は6.8%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が92.3%、『低重視群』は7.7%となる。

■性別

男性の『高重視群』は83.0%で、県全体より1.0ポイント高い。

女性の『高重視群』は81.6%で、県全体より0.4ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は80.6%で、県全体より1.4ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は85.9%で、県全体より3.9ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-28-3 取組28 重視度割合(属性別)

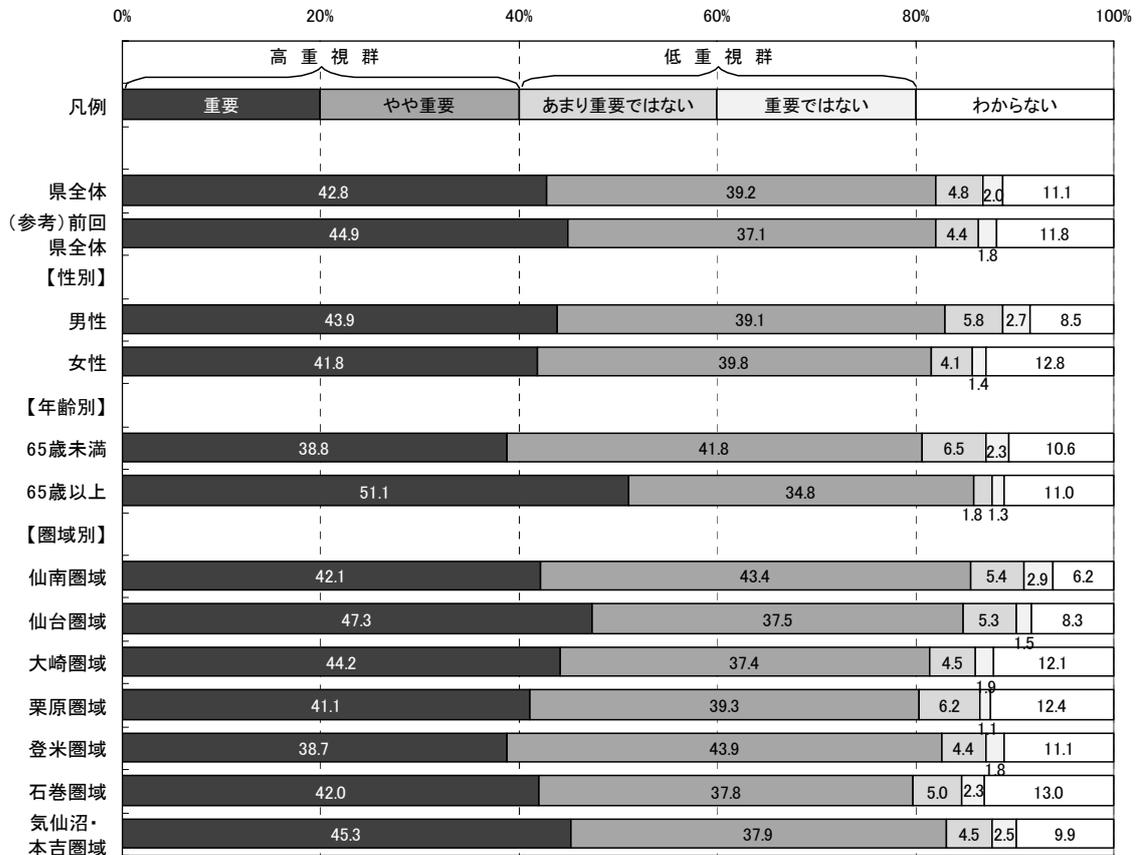


表2-2-28-3 取組28 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	827	757	92	39	215	1,930	123	2,053
	パーセント	42.8	39.2	4.8	2.0	11.1	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	48.2	44.1	5.4	2.3		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	814	672	79	32	214	1,811	133	1,944
	パーセント	44.9	37.1	4.4	1.8	11.8	100.0		
【性別】									
男性	度数	393	350	52	24	76	895	54	949
	パーセント	43.9	39.1	5.8	2.7	8.5	100.0		
女性	度数	408	388	40	14	125	975	56	1,031
	パーセント	41.8	39.8	4.1	1.4	12.8	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	486	523	81	29	132	1,251	46	1,297
	パーセント	38.8	41.8	6.5	2.3	10.6	100.0		
65歳以上	度数	312	212	11	8	67	610	63	673
	パーセント	51.1	34.8	1.8	1.3	11.0	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	102	105	13	7	15	242	8	250
	パーセント	42.1	43.4	5.4	2.9	6.2	100.0		
仙台圏域	度数	125	99	14	4	22	264	12	276
	パーセント	47.3	37.5	5.3	1.5	8.3	100.0		
大崎圏域	度数	117	99	12	5	32	265	22	287
	パーセント	44.2	37.4	4.5	1.9	12.1	100.0		
栗原圏域	度数	113	108	17	3	34	275	12	287
	パーセント	41.1	39.3	6.2	1.1	12.4	100.0		
登米圏域	度数	105	119	12	5	30	271	13	284
	パーセント	38.7	43.9	4.4	1.8	11.1	100.0		
石巻圏域	度数	110	99	13	6	34	262	17	279
	パーセント	42.0	37.8	5.0	2.3	13.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	110	92	11	6	24	243	13	256
	パーセント	45.3	37.9	4.5	2.5	9.9	100.0		

**【満足度】** (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は53.4%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は21.9%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が71.0%、『不満群』は29.0%となる。

■性別

男性の『満足群』は52.6%で、県全体より0.8ポイント低い。

女性の『満足群』は55.2%で、県全体より1.8ポイント高い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は50.2%で、県全体より3.2ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は62.3%で、県全体より8.9ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-28-4 取組28 満足度割合(属性別)

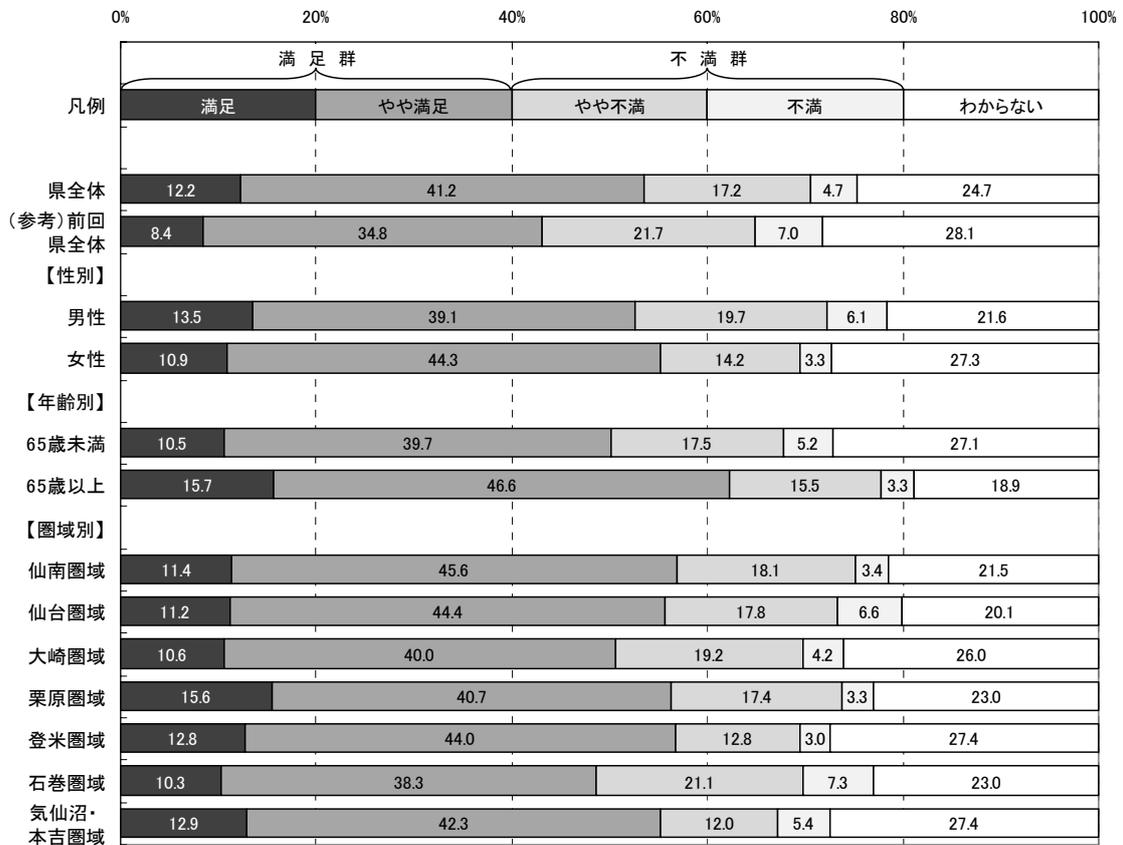


表2-2-28-4 取組28 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	233	786	327	89	471	1,906	147	2,053
	パーセント	12.2	41.2	17.2	4.7	24.7	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	16.2	54.8	22.8	6.2		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	150	624	390	125	505	1,794	150	1,944
	パーセント	8.4	34.8	21.7	7.0	28.1	100.0		
【性別】									
男性	度数	119	346	174	54	191	884	65	949
	パーセント	13.5	39.1	19.7	6.1	21.6	100.0		
女性	度数	105	426	136	32	262	961	70	1,031
	パーセント	10.9	44.3	14.2	3.3	27.3	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	130	491	217	64	335	1,237	60	1,297
	パーセント	10.5	39.7	17.5	5.2	27.1	100.0		
65歳以上	度数	94	279	93	20	113	599	74	673
	パーセント	15.7	46.6	15.5	3.3	18.9	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	27	108	43	8	51	237	13	250
	パーセント	11.4	45.6	18.1	3.4	21.5	100.0		
仙台圏域	度数	29	115	46	17	52	259	17	276
	パーセント	11.2	44.4	17.8	6.6	20.1	100.0		
大崎圏域	度数	28	106	51	11	69	265	22	287
	パーセント	10.6	40.0	19.2	4.2	26.0	100.0		
栗原圏域	度数	42	110	47	9	62	270	17	287
	パーセント	15.6	40.7	17.4	3.3	23.0	100.0		
登米圏域	度数	34	117	34	8	73	266	18	284
	パーセント	12.8	44.0	12.8	3.0	27.4	100.0		
石巻圏域	度数	27	100	55	19	60	261	18	279
	パーセント	10.3	38.3	21.1	7.3	23.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	31	102	29	13	66	241	15	256
	パーセント	12.9	42.3	12.0	5.4	27.4	100.0		

## 【特に優先すべきと思う項目】

取組 2 8 に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア さまざまな場面で3R活動(ごみを出さない, 再使用する, 再生利用するなどの取組)を進めるための, 県民・事業者・市町村等への啓発活動の充実
- イ 日常生活や事業活動での廃棄物の発生を抑えたり, 資源として再利用する取組の促進
- ウ 製品の製造, 流通から廃棄までの各段階や, サービスの提供に伴う環境負荷低減の促進
- エ リサイクル施設の整備など3Rを支える社会的基盤の充実とリサイクル関連新技術開発の促進
- オ 廃棄物の適正処理を進めるため, 廃棄物を出す側の責任意識や県民の理解協力の促進と, 不法投棄等不適正処理の根絶に向けた監視指導の強化
- カ 廃棄物処理に関する情報公開を進めるなど, 透明性の確保

(参考: 目標とする宮城の姿)

- 資源循環の重要性や3Rの意識が県民や企業などに広まり, ごみをできるだけ出さない生活様式や事業活動が根付いています。
- 環境保護・省エネルギーに配慮した製品設計などに取り組む企業が増えています。
- 廃棄物の再資源化が進み, 最終処分量が減っています。また, 廃棄物を出す企業などの責任意識が高まり, 優良な業者による適正な廃棄物処理が行われています。
- 廃棄物の不適正処理が減っています。また, 廃棄物処理の必要性について県民の理解が進み, 必要な処理施設が確保されています。

### <概要>

■県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別		
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	
第1位:	ア	ア	ア	ア	ア	
第2位:	イ	イ	イ	イ	イ	
第3位:	オ	オ	オ	エ	オ	

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ア	ア	ア	ア	ア	ア	アイ
第2位:	イ	イ	オ	イ	イ	イ	-
第3位:	エ	オ	イ	エ	エ	オ	エオ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合, 項目記号を網掛けしている。

図2-2-28-5 取組28 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

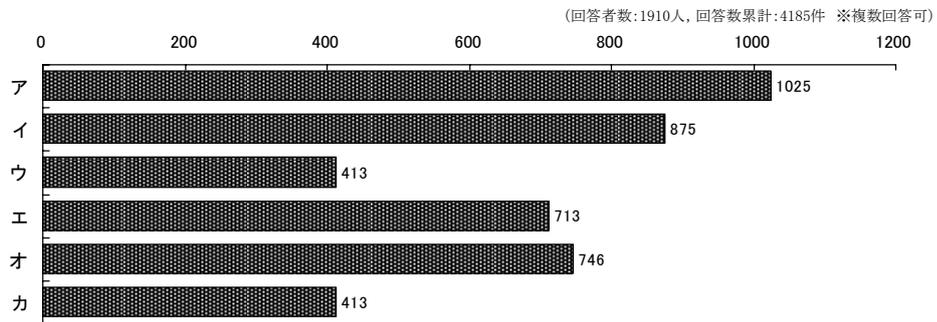
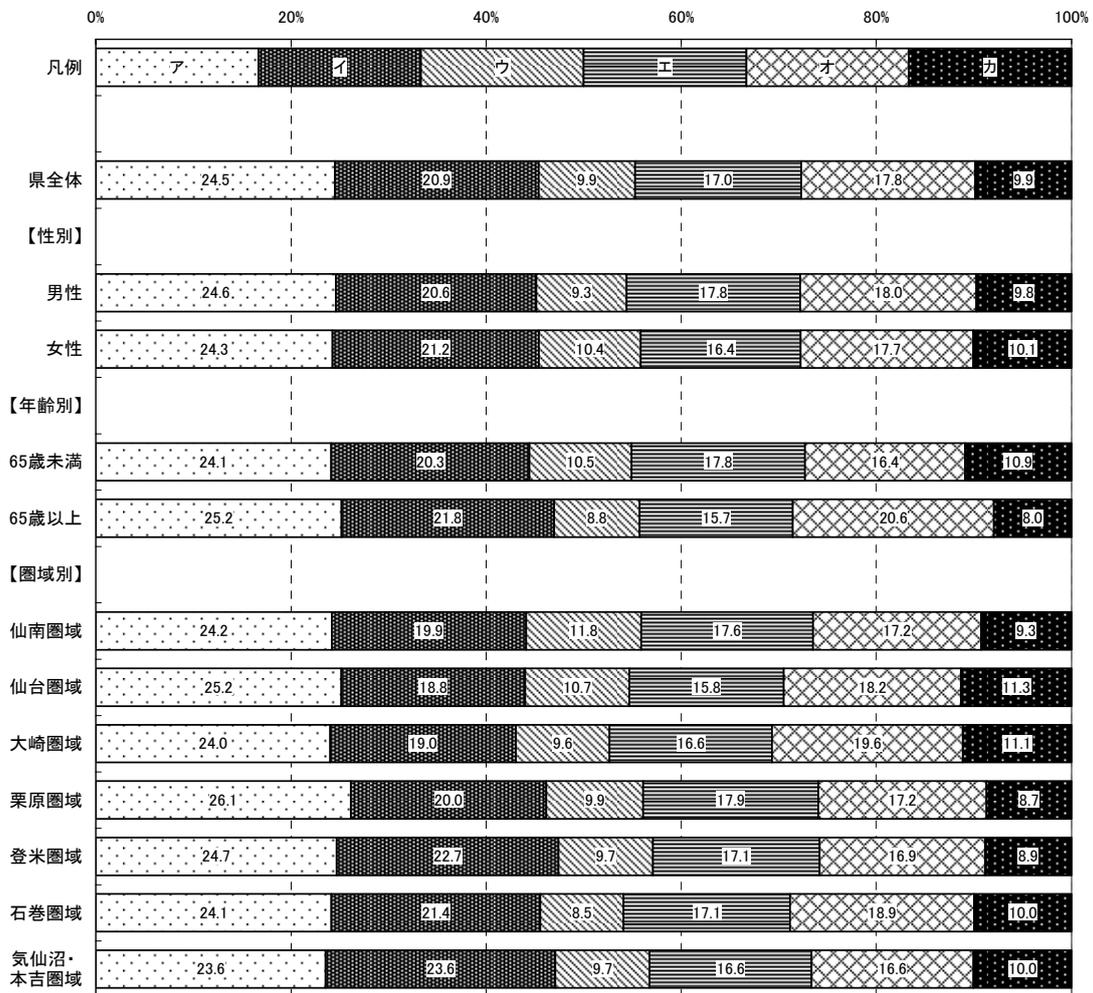


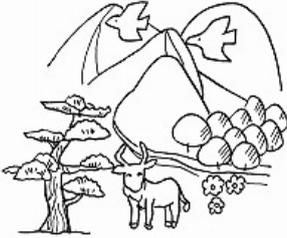
図2-2-28-6 取組28 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※ 本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 2 8 「廃棄物等の3R(発生抑制・再使用・再生利用)と  
適正処理の推進」

## 取組 2 9 豊かな自然環境, 生活環境の保全



### 取組概要

県内の豊かで多様な自然環境を積極的に保全し、将来の世代に健全な姿で引き継いでいくことや、きれいな空気や水、土壌など、県民が健康で安心して暮らすことができる生活環境の保全を目指します。また、その取組に向けて、地域の人材育成や体制整備を目指します。

### 平成 2 2 年度の主な取組

- 金華山島の植生をニホンジカの食害から守る対策を実施しています。また、蒲生干潟や伊豆沼・内沼で失われた自然環境を回復させる取組を行っています。
- 傷ついたり病気にかかった野生鳥獣を保護し、救護機関で治療しています。また、治療後、一時的にボランティア(アニマルレスキュー隊)が飼養し、野生復帰ができるように手助けしています。
- 県内の企業から苗木の提供を受け、登米市の市有林内に地元の小学生や協賛団体等と共に、野球バットの原木となるアオダモをはじめとした広葉樹を植栽しています。  
[成果等] 植栽面積 0.1ha, 植栽本数 150 本
- 北上川流域及び名取川流域の健全な水循環の保全を図るため、関係行政機関や関係団体も交えて、各流域の水循環計画策定のための検討を行いました。
- 私たちが生活していく上で重要な自然や生活環境の中で、美しい景観を保つ大切な松林を守るため、松枯れの原因となる松くい虫被害の防除を進めています。

**【認知度】**

(県がこの取組を行っていたことについて，どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は44.6%，  
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は55.5%である。

■性別

男性の『高認知群』は47.1%で，県全体より2.5ポイント高い。  
女性の『高認知群』は42.4%で，県全体より2.2ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高認知群』は37.6%で，県全体より7.0ポイント低い。  
65歳以上の『高認知群』は59.3%で，県全体より14.7ポイント高い。

■圏域別

仙南圏域の『高認知群』は38.4%で，県全体より6.2ポイント低い。  
石巻圏域の『高認知群』は52.6%で，県全体より8.0ポイント高い。  
その他の圏域の『高認知群』は，県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-29-1 取組29 認知度割合(属性別)

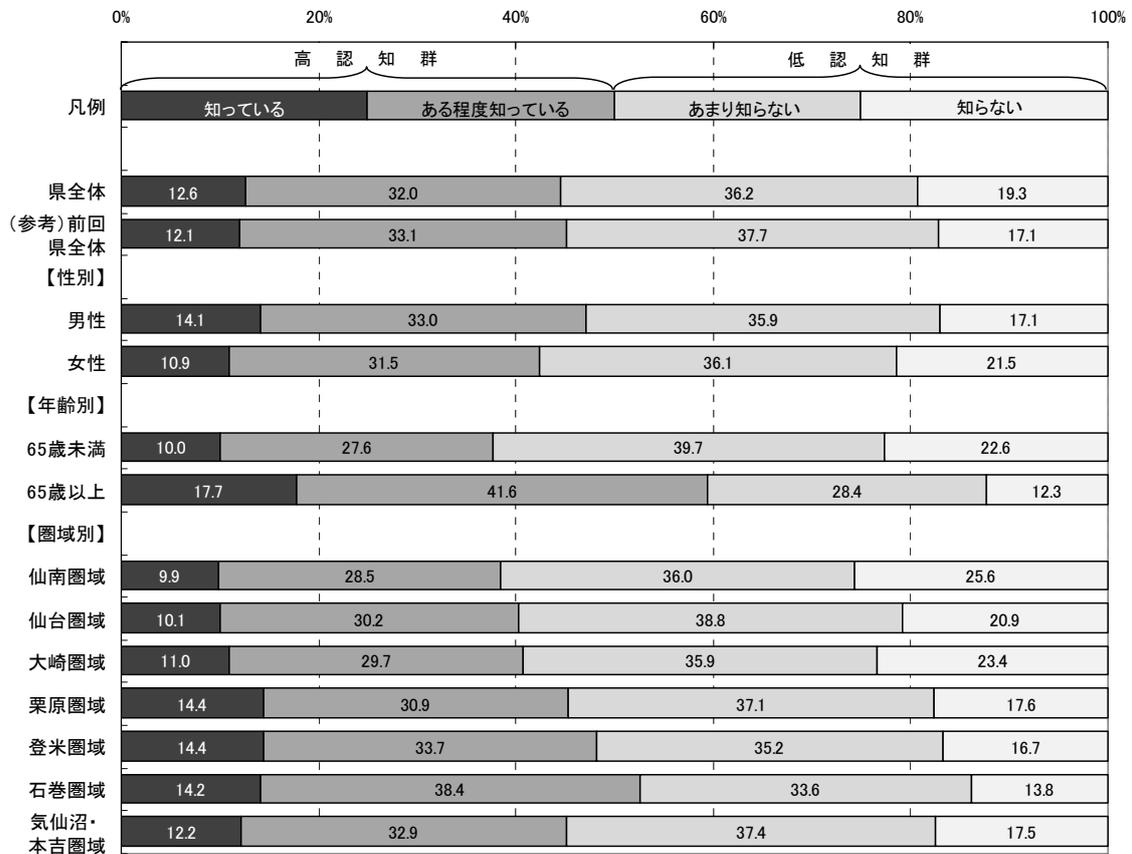


表2-2-29-1 取組29 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	247	626	708	377	1,958	95	2,053
	パーセント	12.6	32.0	36.2	19.3	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	222	608	694	315	1,839	105	1,944
	パーセント	12.1	33.1	37.7	17.1	100.0		
<b>【性別】</b>								
男性	度数	128	300	326	155	909	40	949
	パーセント	14.1	33.0	35.9	17.1	100.0		
女性	度数	108	311	357	212	988	43	1,031
	パーセント	10.9	31.5	36.1	21.5	100.0		
<b>【年齢別】</b>								
65歳未満	度数	127	350	504	287	1,268	29	1,297
	パーセント	10.0	27.6	39.7	22.6	100.0		
65歳以上	度数	110	258	176	76	620	53	673
	パーセント	17.7	41.6	28.4	12.3	100.0		
<b>【圏域別】</b>								
仙南圏域	度数	24	69	87	62	242	8	250
	パーセント	9.9	28.5	36.0	25.6	100.0		
仙台圏域	度数	27	81	104	56	268	8	276
	パーセント	10.1	30.2	38.8	20.9	100.0		
大崎圏域	度数	30	81	98	64	273	14	287
	パーセント	11.0	29.7	35.9	23.4	100.0		
栗原圏域	度数	40	86	103	49	278	9	287
	パーセント	14.4	30.9	37.1	17.6	100.0		
登米圏域	度数	39	91	95	45	270	14	284
	パーセント	14.4	33.7	35.2	16.7	100.0		
石巻圏域	度数	38	103	90	37	268	11	279
	パーセント	14.2	38.4	33.6	13.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	30	81	92	43	246	10	256
	パーセント	12.2	32.9	37.4	17.5	100.0		

**【関心度】** (県が行ってきたこの取組の内容について，どのくらい関心があるか)

< 概要 >

■ 県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は71.3%，  
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は28.6%である。

■ 性別

男性の『高関心群』は74.9%で，県全体より3.6ポイント高い。

女性の『高関心群』は68.0%で，県全体より3.3ポイント低い。

■ 年齢別

65歳未満の『高関心群』は67.2%で，県全体より4.1ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は80.5%で，県全体より9.2ポイント高い。

■ 圏域別

仙南圏域の『高関心群』は65.1%で，県全体より6.2ポイント低い。

石巻圏域の『高関心群』は76.4%で，県全体より5.1ポイント高い。

その他の圏域の『高関心群』は，県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-29-2 取組29 関心度割合(属性別)

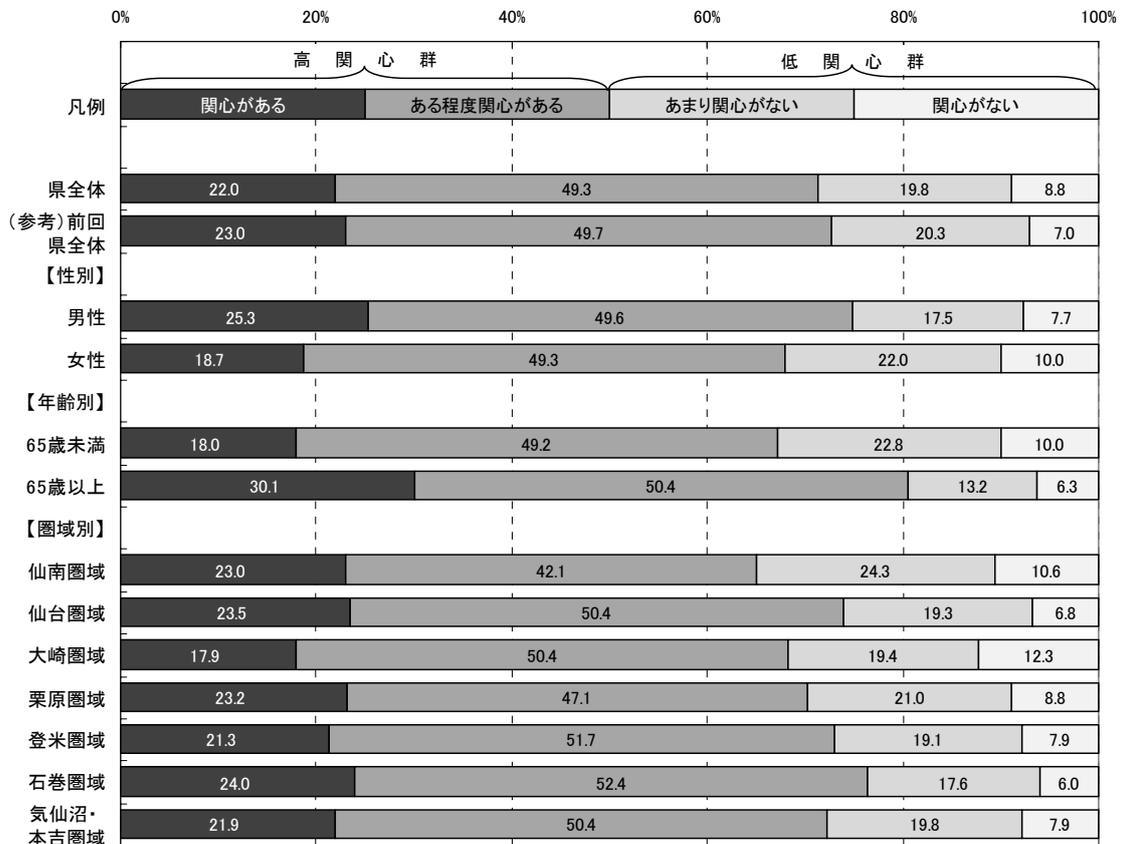


表2-2-29-2 取組29 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	423	948	381	170	1,922	131	2,053
	パーセント	22.0	49.3	19.8	8.8	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	414	895	366	126	1,801	143	1,944
	パーセント	23.0	49.7	20.3	7.0	100.0		
【性別】								
男性	度数	227	445	157	69	898	51	949
	パーセント	25.3	49.6	17.5	7.7	100.0		
女性	度数	181	477	213	97	968	63	1,031
	パーセント	18.7	49.3	22.0	10.0	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	225	616	286	125	1,252	45	1,297
	パーセント	18.0	49.2	22.8	10.0	100.0		
65歳以上	度数	182	305	80	38	605	68	673
	パーセント	30.1	50.4	13.2	6.3	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	54	99	57	25	235	15	250
	パーセント	23.0	42.1	24.3	10.6	100.0		
仙台圏域	度数	62	133	51	18	264	12	276
	パーセント	23.5	50.4	19.3	6.8	100.0		
大崎圏域	度数	48	135	52	33	268	19	287
	パーセント	17.9	50.4	19.4	12.3	100.0		
栗原圏域	度数	63	128	57	24	272	15	287
	パーセント	23.2	47.1	21.0	8.8	100.0		
登米圏域	度数	57	138	51	21	267	17	284
	パーセント	21.3	51.7	19.1	7.9	100.0		
石巻圏域	度数	64	140	47	16	267	12	279
	パーセント	24.0	52.4	17.6	6.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	53	122	48	19	242	14	256
	パーセント	21.9	50.4	19.8	7.9	100.0		

**【重視度】** (県がこの取組を今後行っていくことが，どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は70.2%，「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は12.5%である。

なお，回答全体から「わからない」を除き集計した場合，『高重視群』が84.9%，『低重視群』は15.2%となる。

■性別

男性の『高重視群』は73.5%で，県全体より3.3ポイント高い。

女性の『高重視群』は67.3%で，県全体より2.9ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は66.8%で，県全体より3.4ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は78.0%で，県全体より7.8ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高重視群』は，県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-29-3 取組29 重視度割合(属性別)

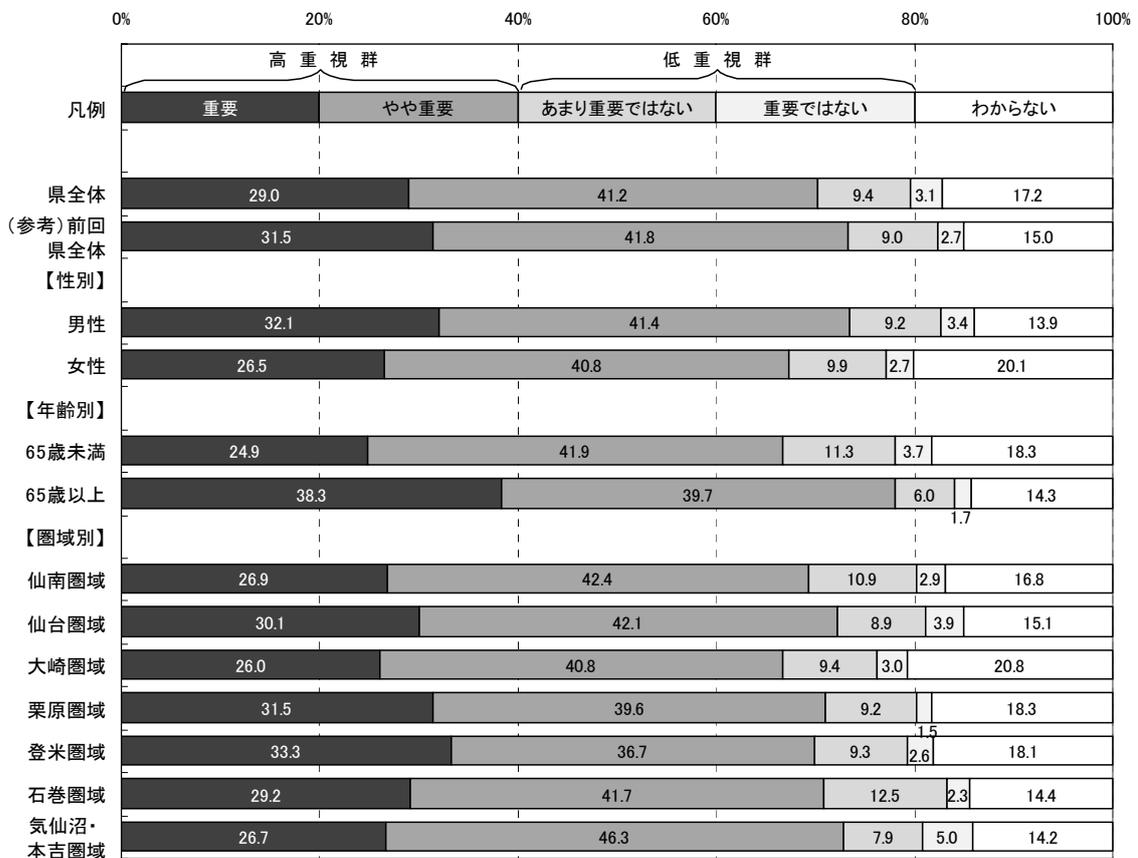


表2-2-29-3 取組29 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	556	789	180	60	330	1,915	138	2,053
	パーセント	29.0	41.2	9.4	3.1	17.2	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	35.1	49.8	11.4	3.8		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	567	753	162	48	270	1,800	144	1,944
	パーセント	31.5	41.8	9.0	2.7	15.0	100.0		
<b>【性別】</b>									
男性	度数	290	374	83	31	126	904	45	949
	パーセント	32.1	41.4	9.2	3.4	13.9	100.0		
女性	度数	253	389	94	26	192	954	77	1,031
	パーセント	26.5	40.8	9.9	2.7	20.1	100.0		
<b>【年齢別】</b>									
65歳未満	度数	311	523	141	46	228	1,249	48	1,297
	パーセント	24.9	41.9	11.3	3.7	18.3	100.0		
65歳以上	度数	230	238	36	10	86	600	73	673
	パーセント	38.3	39.7	6.0	1.7	14.3	100.0		
<b>【圏域別】</b>									
仙南圏域	度数	64	101	26	7	40	238	12	250
	パーセント	26.9	42.4	10.9	2.9	16.8	100.0		
仙台圏域	度数	78	109	23	10	39	259	17	276
	パーセント	30.1	42.1	8.9	3.9	15.1	100.0		
大崎圏域	度数	69	108	25	8	55	265	22	287
	パーセント	26.0	40.8	9.4	3.0	20.8	100.0		
栗原圏域	度数	86	108	25	4	50	273	14	287
	パーセント	31.5	39.6	9.2	1.5	18.3	100.0		
登米圏域	度数	90	99	25	7	49	270	14	284
	パーセント	33.3	36.7	9.3	2.6	18.1	100.0		
石巻圏域	度数	77	110	33	6	38	264	15	279
	パーセント	29.2	41.7	12.5	2.3	14.4	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	64	111	19	12	34	240	16	256
	パーセント	26.7	46.3	7.9	5.0	14.2	100.0		

**【満足度】** (県が行ってきたこの取組について，どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は44.4%，「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は20.4%である。

なお，回答全体から「わからない」を除き集計した場合，『満足群』が68.6%，『不満群』は31.5%となる。

■性別

男性の『満足群』は45.9%で，県全体より1.5ポイント高い。

女性の『満足群』は43.7%で，県全体より0.7ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は39.2%で，県全体より5.2ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は57.2%で，県全体より12.8ポイント高い。

■圏域別

登米圏域の『満足群』は49.8%で，県全体より5.4ポイント高い。

その他の圏域の『満足群』は，県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-29-4 取組29 満足度割合(属性別)

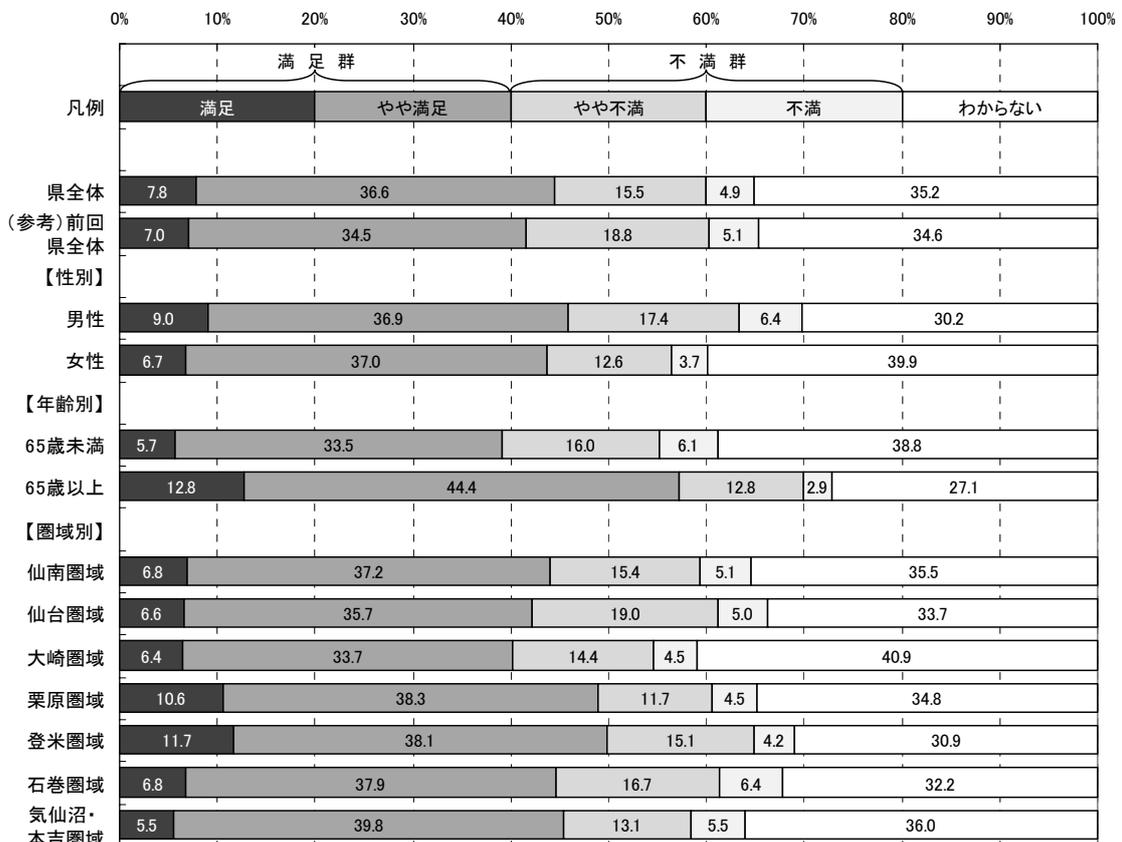


表2-2-29-4 取組29 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	148	691	292	93	664	1,888	165	2,053
	パーセント	7.8	36.6	15.5	4.9	35.2	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	12.1	56.5	23.9	7.6		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	124	609	331	90	611	1,765	179	1,944
	パーセント	7.0	34.5	18.8	5.1	34.6	100.0		
【性別】									
男性	度数	80	326	154	57	267	884	65	949
	パーセント	9.0	36.9	17.4	6.4	30.2	100.0		
女性	度数	64	351	120	35	379	949	82	1,031
	パーセント	6.7	37.0	12.6	3.7	39.9	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	70	415	198	75	480	1,238	59	1,297
	パーセント	5.7	33.5	16.0	6.1	38.8	100.0		
65歳以上	度数	75	260	75	17	159	586	87	673
	パーセント	12.8	44.4	12.8	2.9	27.1	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	16	87	36	12	83	234	16	250
	パーセント	6.8	37.2	15.4	5.1	35.5	100.0		
仙台圏域	度数	17	92	49	13	87	258	18	276
	パーセント	6.6	35.7	19.0	5.0	33.7	100.0		
大崎圏域	度数	17	89	38	12	108	264	23	287
	パーセント	6.4	33.7	14.4	4.5	40.9	100.0		
栗原圏域	度数	28	101	31	12	92	264	23	287
	パーセント	10.6	38.3	11.7	4.5	34.8	100.0		
登米圏域	度数	31	101	40	11	82	265	19	284
	パーセント	11.7	38.1	15.1	4.2	30.9	100.0		
石巻圏域	度数	18	100	44	17	85	264	15	279
	パーセント	6.8	37.9	16.7	6.4	32.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	13	94	31	13	85	236	20	256
	パーセント	5.5	39.8	13.1	5.5	36.0	100.0		

## 【特に優先すべきと思う項目】

取組 2 9 に関し, 目標とする宮城の姿を目指して, 県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 特別名勝松島や国定公園(栗駒山など), ラムサール条約湿地(伊豆沼)など, 宮城の自然環境の保全・再生の推進
- イ 特定鳥獣や希少動植物などをはじめとした, 多様な野生生物の保護管理
- ウ 豊かな自然環境を守りながら, 自然のもたらすやすらぎと潤いに浸ることができる取組の推進
- エ 身近にあるみどり豊かな空間の保全と, 自然環境保全意識の醸成に向けた人材育成
- オ 各流域の特性を生かした水にまつわる環境の保全

(参考: 目標とする宮城の姿)

- 自然環境の保全, 野生生物の保護とともに, 損なわれた生態系の再生の取組が進んでいます。また, 蔵王, 栗駒, 伊豆沼・内沼, 松島湾や蒲生干潟など県内各地で, 県民も巻き込んだ自然を守る取組が行われています。
- 県民やNPO, 企業, 国, 市町村, 大学などが連携し, 自然環境を守る取組や環境学習・体験活動などが行われています。
- 水田や里地里山, 沿岸域などが, 農林漁業の生産の場だけでなく, 身近に自然と触れ合える場となっています。
- 上流から下流まで流域全体が協力することで, 水にまつわる環境が守られています。また, 湖沼などの水質が改善しています。

### <概要>

■県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ウ	ア	ウ	ウ	ア
第2位:	ア	ウ	ア	ア	ウ
第3位:	オ	オ	オ	オ	オ

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ウ	ウ	ウ	ア	ア	ウ	ウ
第2位:	ア	ア	ア	ウ	ウ	ア	ア
第3位:	オ	イ	オ	オ	オ	オ	エ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合, 項目記号を網掛けしている。

図2-2-29-5 取組29 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

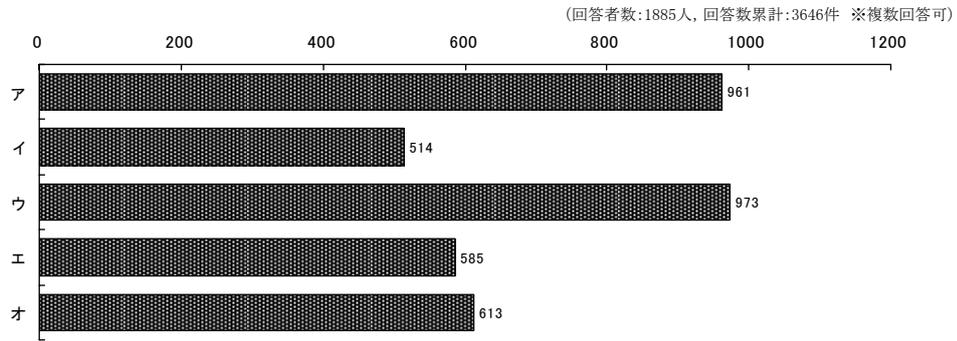
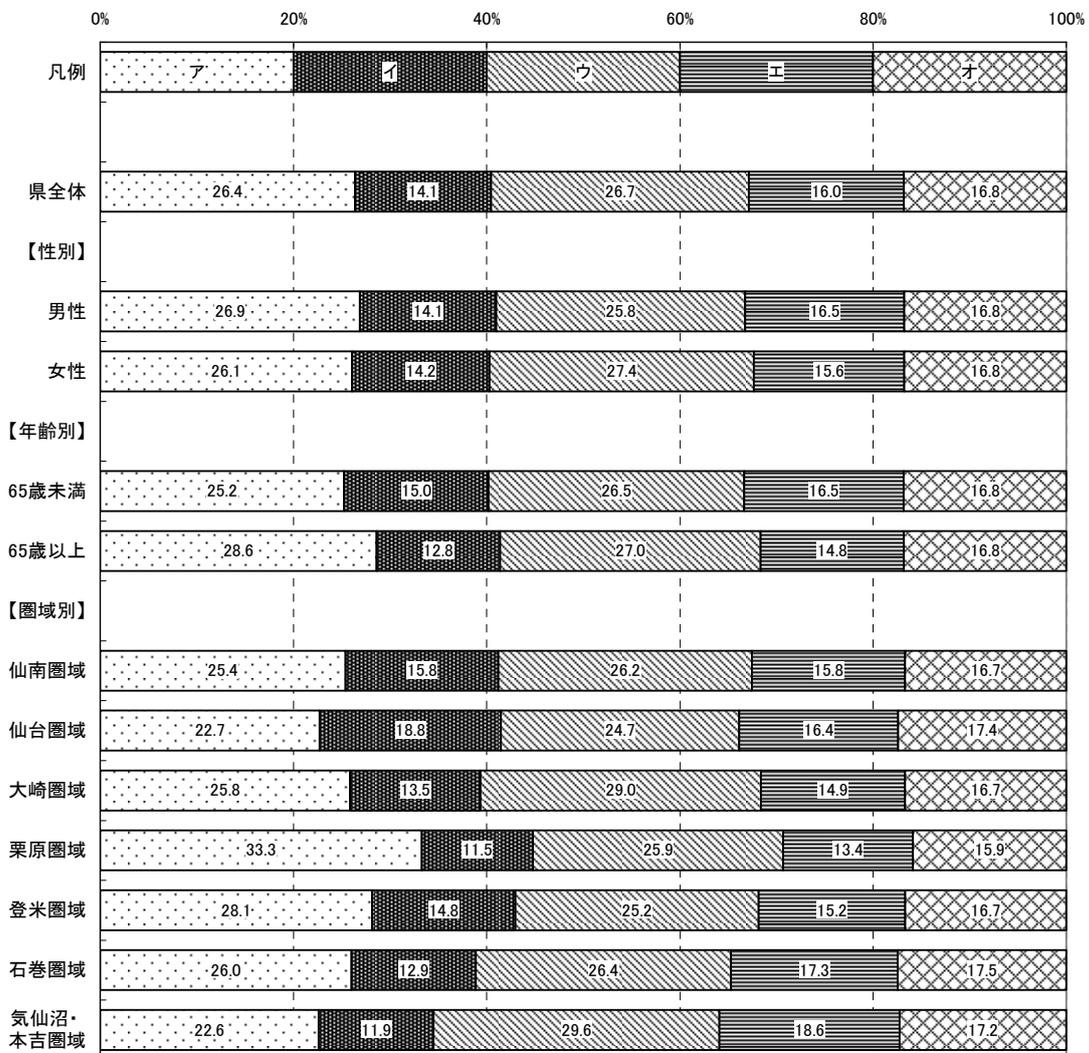


図2-2-29-6 取組29 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※ 本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。



## 取組 3 0 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成



### 取組概要

道路や河川などの身近な社会資本について、住民と協働し、地域と一体になった整備と維持管理体制を構築するとともに、長期的視点に立った社会資本の整備を目指します。また、農山漁村が持つ豊かな自然環境の維持保全活動や、良好な景観づくりへの支援を行うなど、住民との協働による美しい地域づくりを目指します。

### 平成 2 2 年度の主な取組

- 中山間地の地域が協働して行う農業生産活動や環境保全活動、交流活動などを支援しています。
- 食料の安定的な生産や農村の豊かな自然環境の維持を目指しながら、農地や農業用水などを適正に管理する地域の協働活動を支援しています。
- 道路や河川等の清掃や緑化に自発的に取り組む個人・団体を、アドプトプログラム(市民と行政が協働で進めるまち美化活動)の実施団体として認定し、地元市町村等と連携しながら活動を支援しています。  
[成果等] アドプトプログラム認定団体数 348 団体(平成 22 年 10 月末現在)
- 「宮城県美しい景観の形成の推進に関する条例」に基づき、本県の景観形成に関する基本的な方針を作成しています。また、景観形成に取り組む市町村への支援や普及啓発のため、景観アドバイザーの派遣や、景観シンポジウムを開催しています。  
[成果等] 景観アドバイザー派遣回数 2 回(平成 22 年 11 月末現在)、景観シンポジウム開催回数 1 回

**【認知度】** (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

■ 県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は24.6%、  
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は75.4%である。

■ 性別

男性の『高認知群』は28.2%で、県全体より3.6ポイント高い。

女性の『高認知群』は21.0%で、県全体より3.6ポイント低い。

■ 年齢別

65歳未満の『高認知群』は17.8%で、県全体より6.8ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は38.4%で、県全体より13.8ポイント高い。

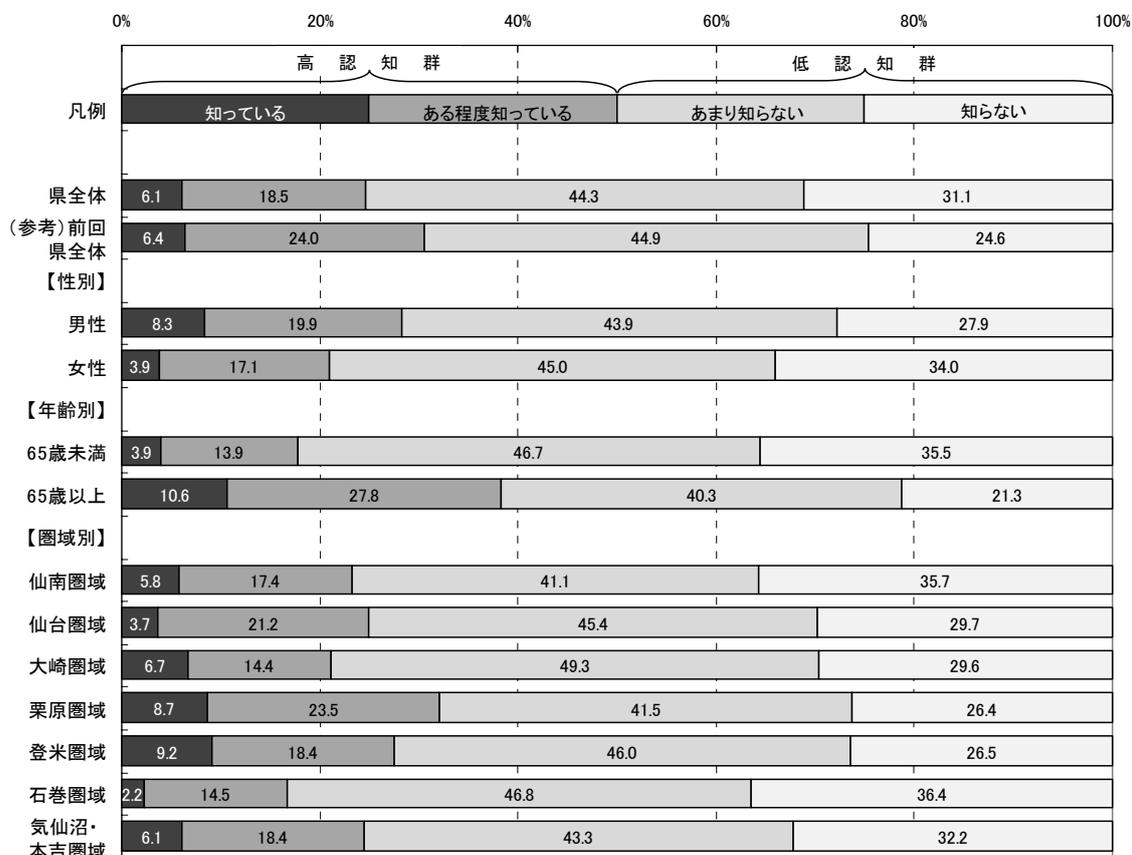
■ 圏域別

栗原圏域の『高認知群』は32.2%で、県全体より7.6ポイント高い。

石巻圏域の『高認知群』は16.7%で、県全体より7.9ポイント低い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-30-1 取組30 認知度割合(属性別)



取組30「住民参画型の社会資本整備や  
良好な景観の作成」

表2-2-30-1 取組30 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	119	361	866	607	1,953	100	2,053
	パーセント	6.1	18.5	44.3	31.1	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	118	440	823	450	1,831	113	1,944
	パーセント	6.4	24.0	44.9	24.6	100.0		
【性別】								
男性	度数	76	181	400	254	911	38	949
	パーセント	8.3	19.9	43.9	27.9	100.0		
女性	度数	38	168	442	334	982	49	1,031
	パーセント	3.9	17.1	45.0	34.0	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	49	176	589	448	1,262	35	1,297
	パーセント	3.9	13.9	46.7	35.5	100.0		
65歳以上	度数	66	173	251	133	623	50	673
	パーセント	10.6	27.8	40.3	21.3	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	14	42	99	86	241	9	250
	パーセント	5.8	17.4	41.1	35.7	100.0		
仙台圏域	度数	10	57	122	80	269	7	276
	パーセント	3.7	21.2	45.4	29.7	100.0		
大崎圏域	度数	18	39	133	80	270	17	287
	パーセント	6.7	14.4	49.3	29.6	100.0		
栗原圏域	度数	24	65	115	73	277	10	287
	パーセント	8.7	23.5	41.5	26.4	100.0		
登米圏域	度数	25	50	125	72	272	12	284
	パーセント	9.2	18.4	46.0	26.5	100.0		
石巻圏域	度数	6	39	126	98	269	10	279
	パーセント	2.2	14.5	46.8	36.4	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	15	45	106	79	245	11	256
	パーセント	6.1	18.4	43.3	32.2	100.0		

**【関心度】** (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は53.3%、  
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は46.8%である。

■性別

男性の『高関心群』は58.8%で、県全体より5.5ポイント高い。

女性の『高関心群』は48.1%で、県全体より5.2ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高関心群』は46.2%で、県全体より7.1ポイント低い。

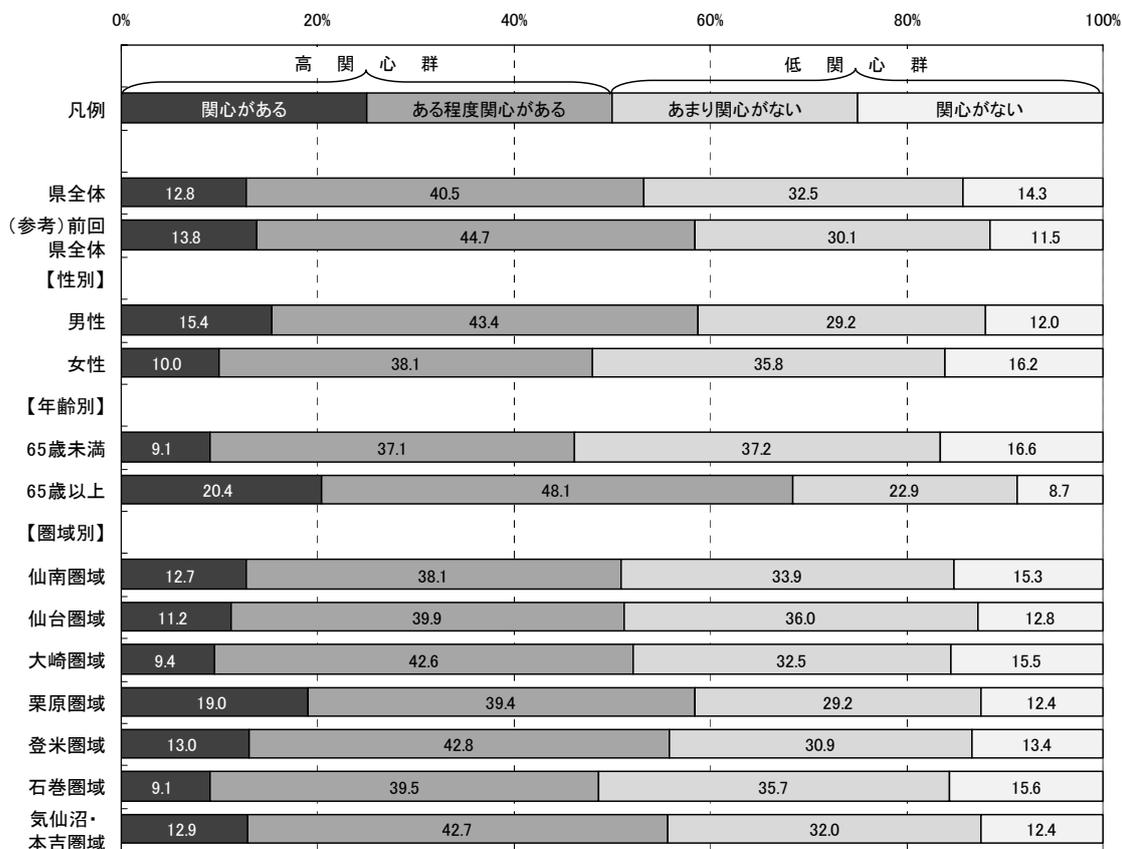
65歳以上の『高関心群』は68.5%で、県全体より15.2ポイント高い。

■圏域別

栗原圏域の『高関心群』は58.4%で、県全体より5.1ポイント高い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-30-2 取組30 関心度割合(属性別)



取組30「住民参画型の社会資本整備や  
良好な景観の作成」

表2-2-30-2 取組30 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	244	772	619	272	1,907	146	2,053
	パーセント	12.8	40.5	32.5	14.3	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	247	802	540	207	1,796	148	1,944
	パーセント	13.8	44.7	30.1	11.5	100.0		
【性別】								
男性	度数	138	390	262	108	898	51	949
	パーセント	15.4	43.4	29.2	12.0	100.0		
女性	度数	95	363	341	154	953	78	1,031
	パーセント	10.0	38.1	35.8	16.2	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	113	461	463	207	1,244	53	1,297
	パーセント	9.1	37.1	37.2	16.6	100.0		
65歳以上	度数	122	288	137	52	599	74	673
	パーセント	20.4	48.1	22.9	8.7	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	30	90	80	36	236	14	250
	パーセント	12.7	38.1	33.9	15.3	100.0		
仙台圏域	度数	29	103	93	33	258	18	276
	パーセント	11.2	39.9	36.0	12.8	100.0		
大崎圏域	度数	25	113	86	41	265	22	287
	パーセント	9.4	42.6	32.5	15.5	100.0		
栗原圏域	度数	52	108	80	34	274	13	287
	パーセント	19.0	39.4	29.2	12.4	100.0		
登米圏域	度数	35	115	83	36	269	15	284
	パーセント	13.0	42.8	30.9	13.4	100.0		
石巻圏域	度数	24	104	94	41	263	16	279
	パーセント	9.1	39.5	35.7	15.6	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	31	103	77	30	241	15	256
	パーセント	12.9	42.7	32.0	12.4	100.0		

**【重視度】** (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

< 概要 >

■ 県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は53.5%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は19.3%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が73.5%、『低重視群』は26.5%となる。

■ 性別

男性の『高重視群』は58.2%で、県全体より4.7ポイント高い。

女性の『高重視群』は49.2%で、県全体より4.3ポイント低い。

■ 年齢別

65歳未満の『高重視群』は47.4%で、県全体より6.1ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は66.7%で、県全体より13.2ポイント高い。

■ 圏域別

石巻圏域の『高重視群』は47.8%で、県全体より5.7ポイント低い。

その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-30-3 取組30 重視度割合(属性別)

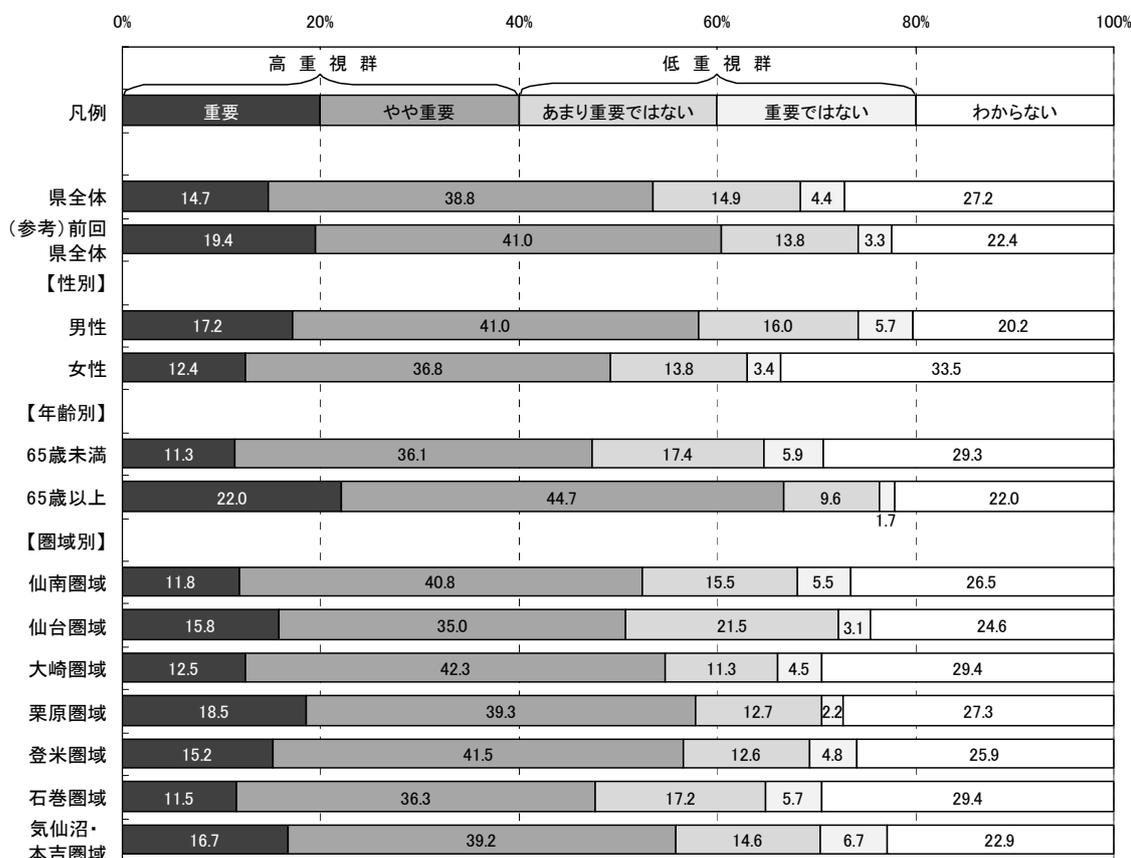


表2-2-30-3 取組30 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	282	741	284	85	520	1,912	141	2,053
	パーセント	14.7	38.8	14.9	4.4	27.2	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	20.3	53.2	20.4	6.1		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	347	732	247	59	400	1,785	159	1,944
	パーセント	19.4	41.0	13.8	3.3	22.4	100.0		
【性別】									
男性	度数	155	370	144	51	182	902	47	949
	パーセント	17.2	41.0	16.0	5.7	20.2	100.0		
女性	度数	119	352	132	33	321	957	74	1,031
	パーセント	12.4	36.8	13.8	3.4	33.5	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	141	450	217	74	365	1,247	50	1,297
	パーセント	11.3	36.1	17.4	5.9	29.3	100.0		
65歳以上	度数	133	270	58	10	133	604	69	673
	パーセント	22.0	44.7	9.6	1.7	22.0	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	28	97	37	13	63	238	12	250
	パーセント	11.8	40.8	15.5	5.5	26.5	100.0		
仙台圏域	度数	41	91	56	8	64	260	16	276
	パーセント	15.8	35.0	21.5	3.1	24.6	100.0		
大崎圏域	度数	33	112	30	12	78	265	22	287
	パーセント	12.5	42.3	11.3	4.5	29.4	100.0		
栗原圏域	度数	51	108	35	6	75	275	12	287
	パーセント	18.5	39.3	12.7	2.2	27.3	100.0		
登米圏域	度数	41	112	34	13	70	270	14	284
	パーセント	15.2	41.5	12.6	4.8	25.9	100.0		
石巻圏域	度数	30	95	45	15	77	262	17	279
	パーセント	11.5	36.3	17.2	5.7	29.4	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	40	94	35	16	55	240	16	256
	パーセント	16.7	39.2	14.6	6.7	22.9	100.0		

**【満足度】** (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は31.8%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は20.9%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が60.3%、『不満群』は39.7%となる。

■性別

男性の『満足群』は35.1%で、県全体より3.3ポイント高い。

女性の『満足群』は28.8%で、県全体より3.0ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は26.5%で、県全体より5.3ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は43.8%で、県全体より12.0ポイント高い。

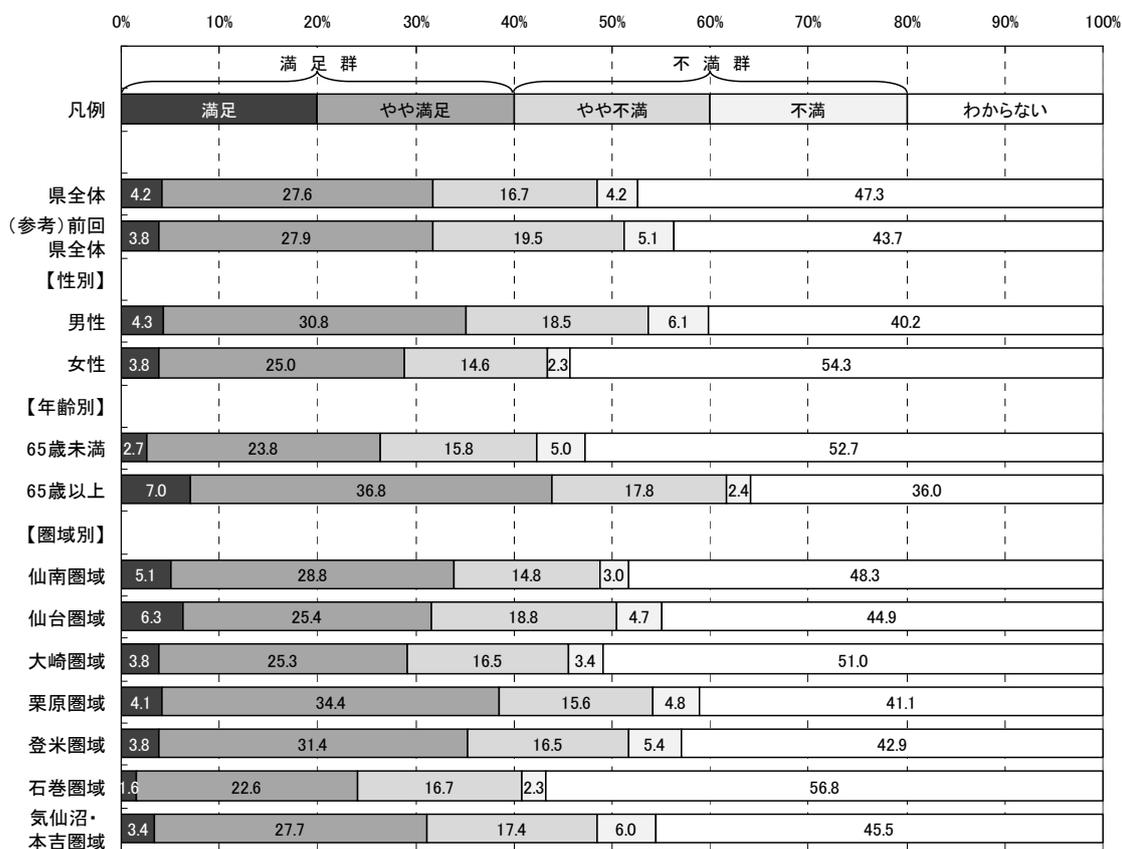
■圏域別

栗原圏域の『満足群』は38.5%で、県全体より6.7ポイント高い。

石巻圏域の『満足群』は24.2%で、県全体より7.6ポイント低い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-30-4 取組30 満足度割合(属性別)



取組30「住民参画型の社会資本整備や  
良好な景観の作成」

表2-2-30-4 取組30 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	78	518	314	79	889	1,878	175	2,053
	パーセント	4.2	27.6	16.7	4.2	47.3	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	7.9	52.4	31.7	8.0		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	67	488	341	90	764	1,750	194	1,944
	パーセント	3.8	27.9	19.5	5.1	43.7	100.0		
【性別】									
男性	度数	38	271	163	54	354	880	69	949
	パーセント	4.3	30.8	18.5	6.1	40.2	100.0		
女性	度数	36	236	138	22	513	945	86	1,031
	パーセント	3.8	25.0	14.6	2.3	54.3	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	33	293	195	62	650	1,233	64	1,297
	パーセント	2.7	23.8	15.8	5.0	52.7	100.0		
65歳以上	度数	41	215	104	14	210	584	89	673
	パーセント	7.0	36.8	17.8	2.4	36.0	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	12	68	35	7	114	236	14	250
	パーセント	5.1	28.8	14.8	3.0	48.3	100.0		
仙台圏域	度数	16	65	48	12	115	256	20	276
	パーセント	6.3	25.4	18.8	4.7	44.9	100.0		
大崎圏域	度数	10	66	43	9	133	261	26	287
	パーセント	3.8	25.3	16.5	3.4	51.0	100.0		
栗原圏域	度数	11	93	42	13	111	270	17	287
	パーセント	4.1	34.4	15.6	4.8	41.1	100.0		
登米圏域	度数	10	82	43	14	112	261	23	284
	パーセント	3.8	31.4	16.5	5.4	42.9	100.0		
石巻圏域	度数	4	58	43	6	146	257	22	279
	パーセント	1.6	22.6	16.7	2.3	56.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	8	65	41	14	107	235	21	256
	パーセント	3.4	27.7	17.4	6.0	45.5	100.0		

## 【特に優先すべきと思う項目】

取組30に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 長期的な視点に立った社会資本の新設・保全・更新の仕組みづくり
- イ 社会資本の整備計画づくりや完成後の管理に住民意見を取り入れるための体制づくり
- ウ みやぎスマイルロードプログラムなど、道路や河川清掃などへの住民や企業の参画促進
- エ 農地や農業用水など農山漁村の豊かな地域資源の保全・活用のための地域ぐるみによる農業生産活動や農地保全活動への支援
- オ 全県的な景観形成の方向性の提示と市町村の景観形成への支援
- カ 景観に配慮した公共施設づくり
- キ 宮城の良好な景観の選定など、良好な景観づくりのための普及啓発

(参考: 目標とする宮城の姿)

- 今ある施設は有効に活用し、新たな施設は長く使えるものを造るなど、将来にも引き継いでいける社会資本が整備されています。
- 身近な道路や河川の整備、管理などを、行政、住民、企業が連携・協働しながら進めています。
- 農地や森林が守られ、農山漁村の持つ魅力が認められることで、都市住民との交流が活発になり、定住する人が増えています。
- それぞれの地域が持つ自然、歴史、文化などの資源を生かした、良好な景観づくりが進んでいます。

### <概要>

■県全体及び属性別（性別・年齢別・圏域別）の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	エ	エ	エ	エ	エ
第2位:	キ	ア	キ	カキ	ウ
第3位:	ア	ウ	カ	-	ア

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ
第2位:	カ	キ	ア	ウ	ア	キ	ア
第3位:	キ	ウ	カキ	キ	ウ	ウ	キ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-30-5 取組30 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

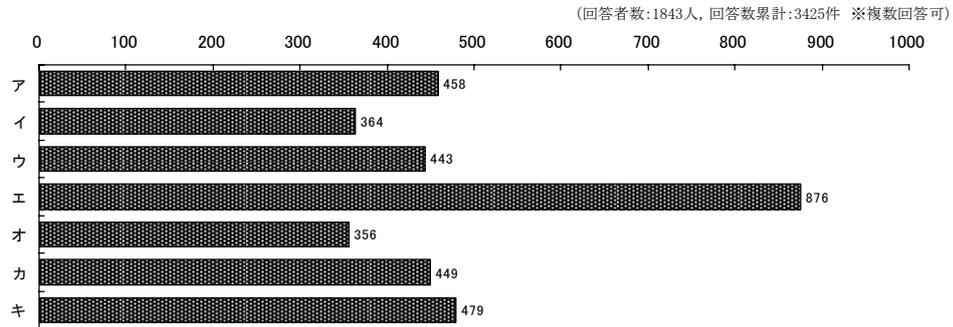
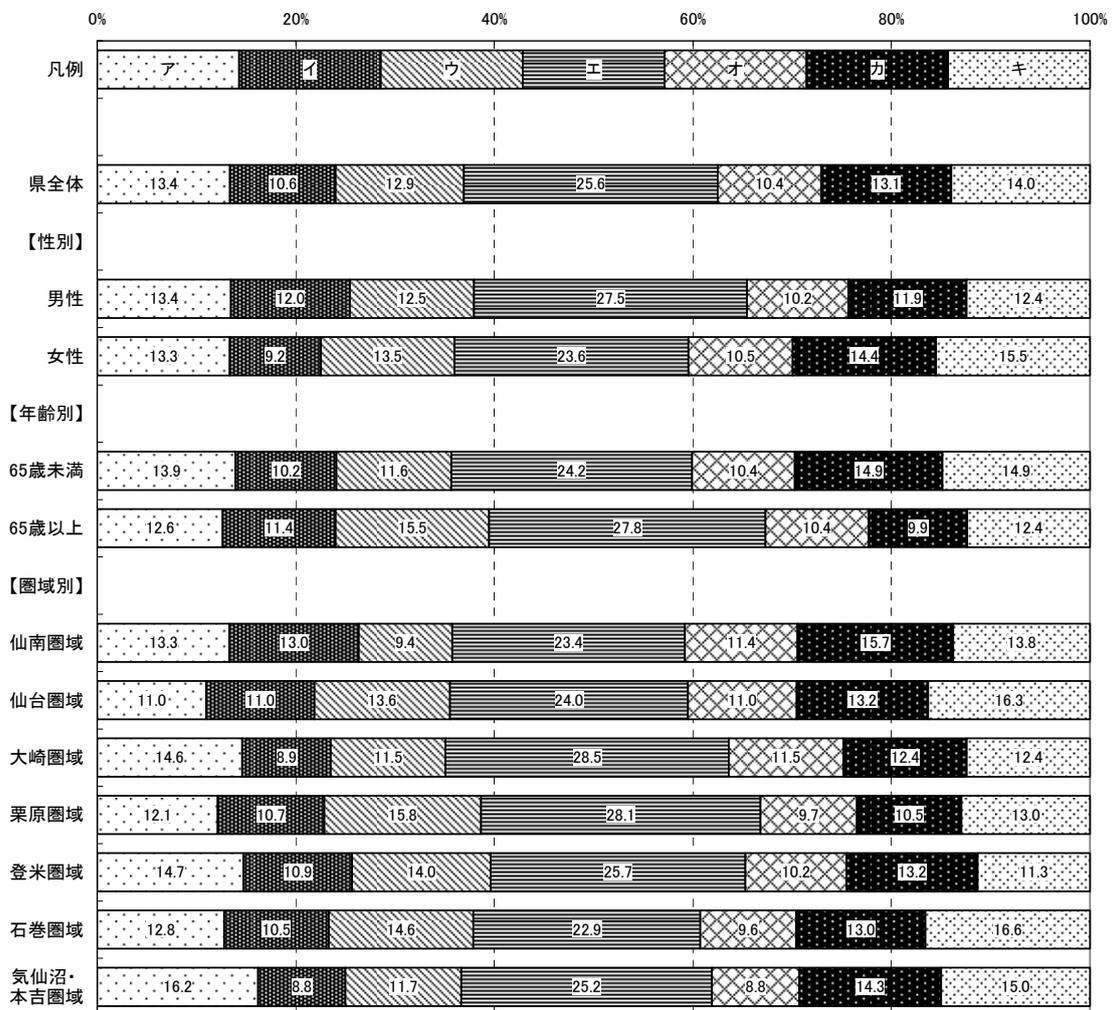


図2-2-30-6 取組30 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組30 「住民参画型の社会資本整備や  
良好な景観の作成」

### 取組 3 1 宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実



#### 取組概要

宮城県沖地震に備え、各種施設の耐震化や津波・高潮対策等に取り組むとともに、観測体制を強化し、各情報を迅速かつ的確に伝達するネットワーク化を目指します。

#### 平成22年度の主な取組

- 宮城県沖地震などの想定地震に対する減災目標や震災対策の基礎資料とするため、様々な社会条件などをもとに、地震動や津波を予測した上で、各種被害を分析しています。
- 負傷者の搬送路や緊急物資の輸送路となる緊急輸送道路上の橋の耐震化をしているほか、ライフラインの機能を確保するため、広域水道等の水管橋や下水道施設の耐震化を行っています。
- 耐震基準が改正された昭和56年6月よりも前に建てられた木造住宅には、倒壊する危険性がある住宅が多いため、市町村と協同して当該住宅の耐震診断や耐震改修工事への助成を行っています。  
[成果等]耐震診断助成戸数1,200戸、耐震改修工事助成戸数(避難弱者住宅、特定地域住宅対象)260戸
- 津波から人命、財産を守るため、防潮水門の耐震化や地震時の断線にも対応可能とした遠隔操作化(無線化)を実施しています。
- 地震・津波に備えた意識の啓発を図るため、県内各地区において、防災パネル展を開催しています。
- 地震災害時に避難場所となる県立加瀬沼公園において、防災機能を有したトイレの整備を図るため、基礎調査を進めています。

**【認知度】** (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は67.5%、  
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は32.5%である。

■性別

男性の『高認知群』は72.1%で、県全体より4.6ポイント高い。

女性の『高認知群』は63.3%で、県全体より4.2ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高認知群』は61.9%で、県全体より5.6ポイント低い。

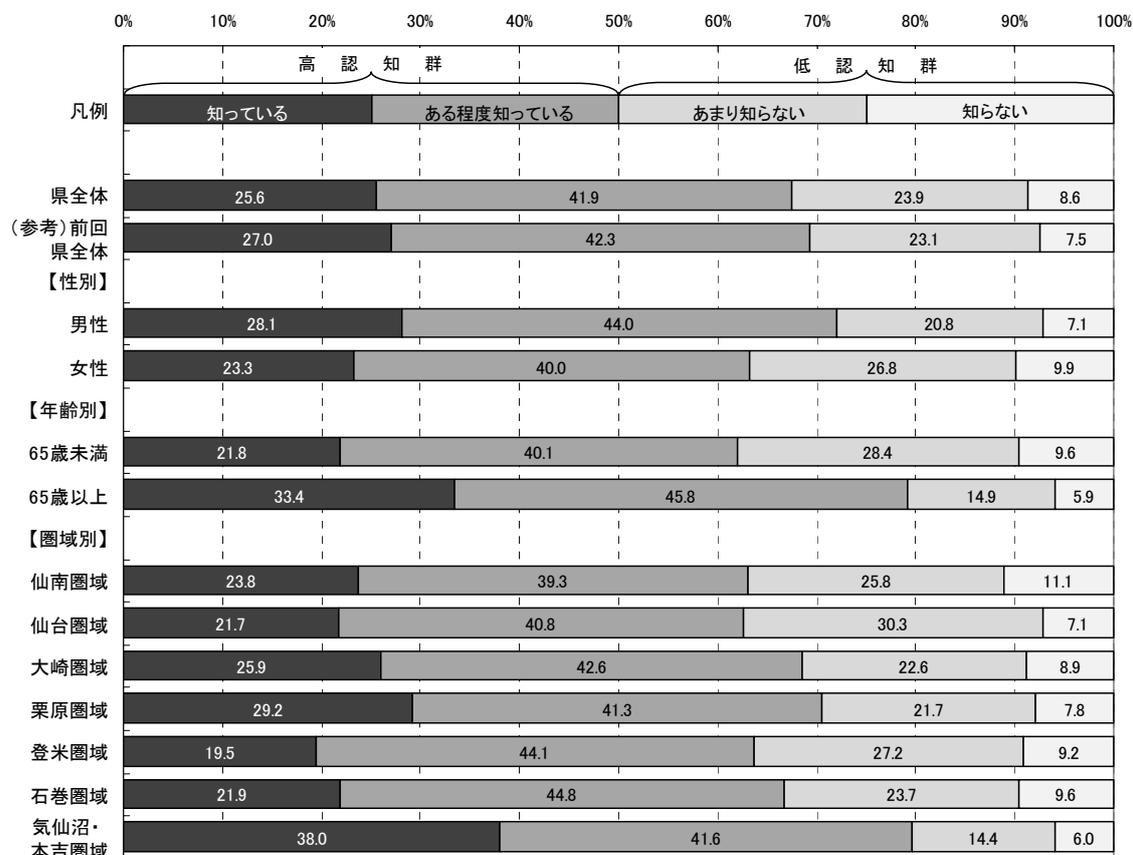
65歳以上の『高認知群』は79.2%で、県全体より11.7ポイント高い。

■圏域別

気仙沼・本吉圏域の『高認知群』は79.6%で、県全体より12.1ポイント高い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-31-1 取組31 認知度割合(属性別)



取組31 「宮城県沖地震に備えた施設整備や  
情報ネットワークの充実」

表2-2-31-1 取組31 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	503	823	470	170	1,966	87	2,053
	パーセント	25.6	41.9	23.9	8.6	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	505	790	432	140	1,867	77	1,944
	パーセント	27.0	42.3	23.1	7.5	100.0		
<b>【性別】</b>								
男性	度数	256	400	189	65	910	39	949
	パーセント	28.1	44.0	20.8	7.1	100.0		
女性	度数	232	398	267	99	996	35	1,031
	パーセント	23.3	40.0	26.8	9.9	100.0		
<b>【年齢別】</b>								
65歳未満	度数	277	509	360	122	1,268	29	1,297
	パーセント	21.8	40.1	28.4	9.6	100.0		
65歳以上	度数	210	288	94	37	629	44	673
	パーセント	33.4	45.8	14.9	5.9	100.0		
<b>【圏域別】</b>								
仙南圏域	度数	58	96	63	27	244	6	250
	パーセント	23.8	39.3	25.8	11.1	100.0		
仙台圏域	度数	58	109	81	19	267	9	276
	パーセント	21.7	40.8	30.3	7.1	100.0		
大崎圏域	度数	70	115	61	24	270	17	287
	パーセント	25.9	42.6	22.6	8.9	100.0		
栗原圏域	度数	82	116	61	22	281	6	287
	パーセント	29.2	41.3	21.7	7.8	100.0		
登米圏域	度数	53	120	74	25	272	12	284
	パーセント	19.5	44.1	27.2	9.2	100.0		
石巻圏域	度数	59	121	64	26	270	9	279
	パーセント	21.9	44.8	23.7	9.6	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	95	104	36	15	250	6	256
	パーセント	38.0	41.6	14.4	6.0	100.0		

**【関心度】** (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は91.7%、  
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は8.4%である。

■性別

男性の『高関心群』は93.2%で、県全体より1.5ポイント高い。

女性の『高関心群』は90.5%で、県全体より1.2ポイント低い。

■年齢別

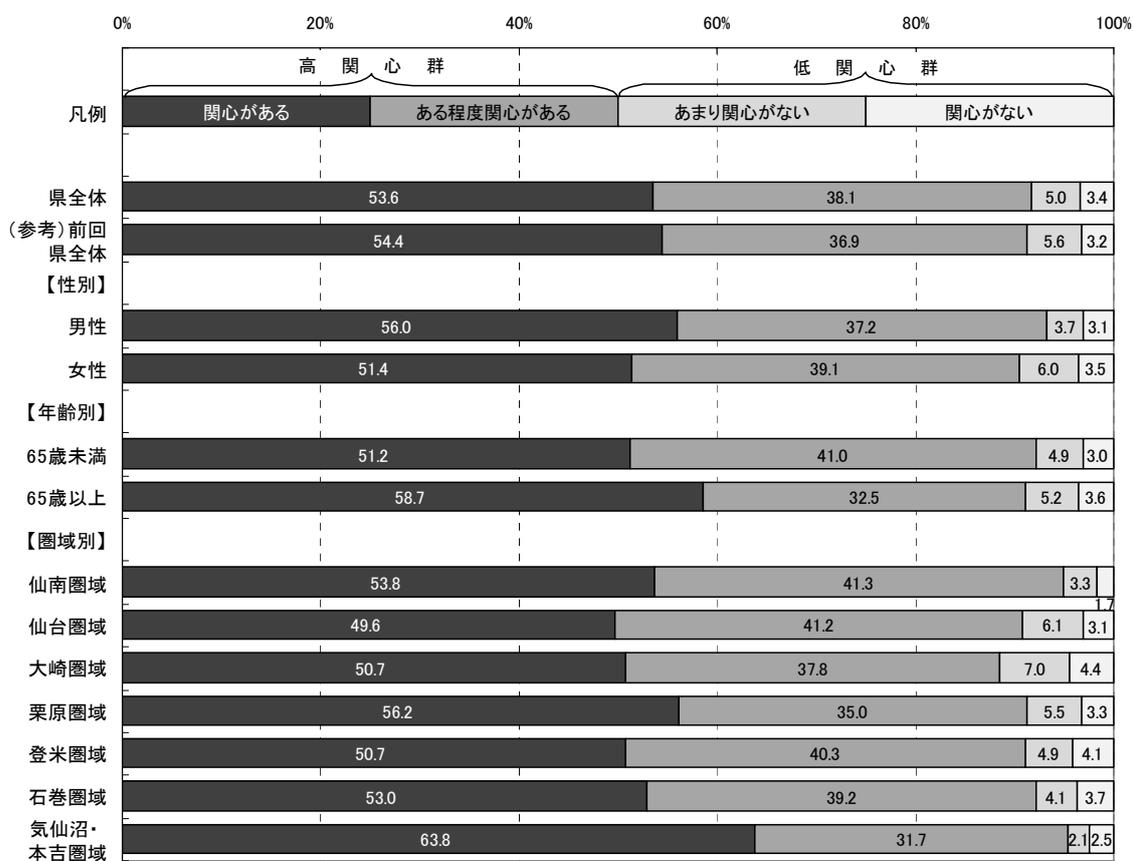
65歳未満の『高関心群』は92.2%で、県全体より0.5ポイント高い。

65歳以上の『高関心群』は91.2%で、県全体より0.5ポイント低い。

■圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-31-2 取組31 関心度割合(属性別)



取組31 「宮城県沖地震に備えた施設整備や  
情報ネットワークの充実」

表2-2-31-2 取組31 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	1,035	736	96	65	1,932	121	2,053
	パーセント	53.6	38.1	5.0	3.4	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	1,000	677	102	58	1,837	107	1,944
	パーセント	54.4	36.9	5.6	3.2	100.0		
【性別】								
男性	度数	502	334	33	28	897	52	949
	パーセント	56.0	37.2	3.7	3.1	100.0		
女性	度数	503	383	59	34	979	52	1,031
	パーセント	51.4	39.1	6.0	3.5	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	642	514	61	38	1,255	42	1,297
	パーセント	51.2	41.0	4.9	3.0	100.0		
65歳以上	度数	359	199	32	22	612	61	673
	パーセント	58.7	32.5	5.2	3.6	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	129	99	8	4	240	10	250
	パーセント	53.8	41.3	3.3	1.7	100.0		
仙台圏域	度数	130	108	16	8	262	14	276
	パーセント	49.6	41.2	6.1	3.1	100.0		
大崎圏域	度数	137	102	19	12	270	17	287
	パーセント	50.7	37.8	7.0	4.4	100.0		
栗原圏域	度数	154	96	15	9	274	13	287
	パーセント	56.2	35.0	5.5	3.3	100.0		
登米圏域	度数	136	108	13	11	268	16	284
	パーセント	50.7	40.3	4.9	4.1	100.0		
石巻圏域	度数	142	105	11	10	268	11	279
	パーセント	53.0	39.2	4.1	3.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	155	77	5	6	243	13	256
	パーセント	63.8	31.7	2.1	2.5	100.0		

**【重視度】** (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は90.1%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は2.7%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が97.1%、『低重視群』は2.9%となる。

■性別

男性の『高重視群』は91.8%で、県全体より1.7ポイント高い。

女性の『高重視群』は88.8%で、県全体より1.3ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は90.1%で、県全体と同じポイント。

65歳以上の『高重視群』は90.7%で、県全体より0.6ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-31-3 取組31 重視度割合(属性別)

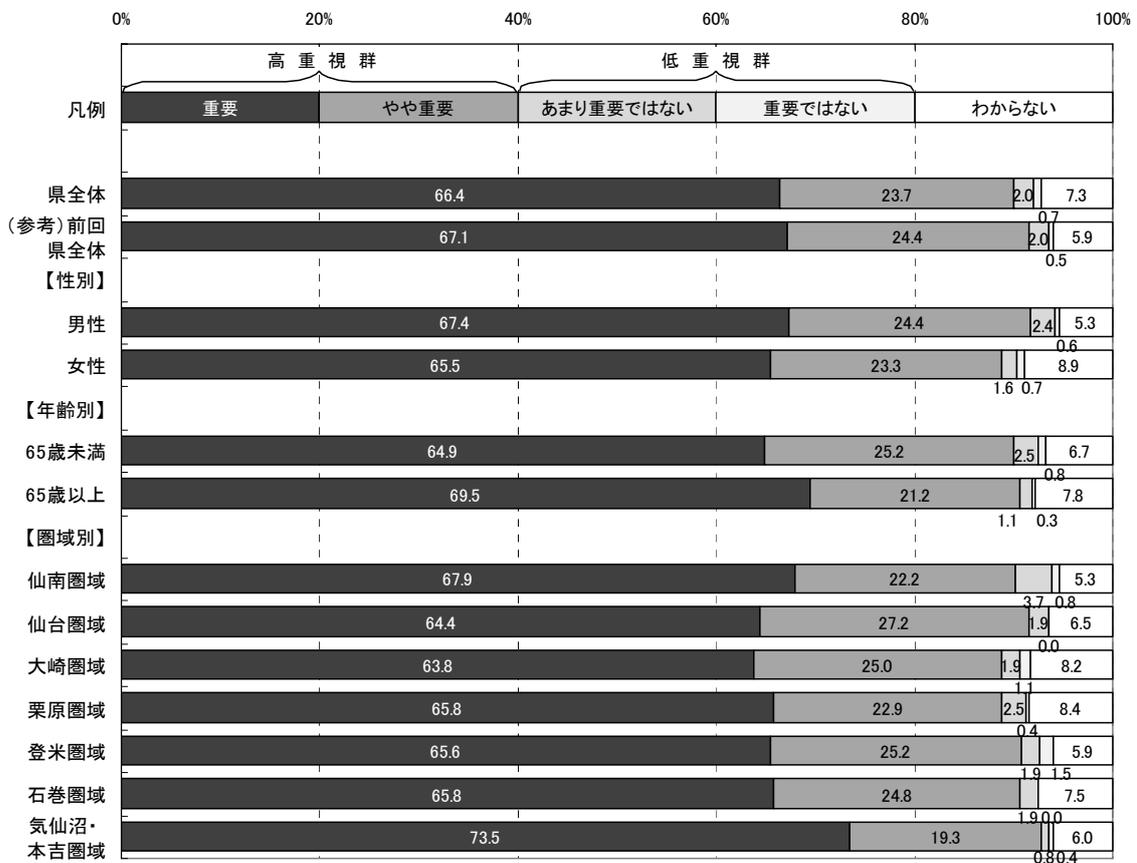


表2-2-31-3 取組31 重視度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない	合計		
県全体	度数	1,291	460	39	13	141	1,944	109	2,053
	パーセント	66.4	23.7	2.0	0.7	7.3	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	71.6	25.5	2.2	0.7		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	1,230	448	37	9	109	1,833	111	1,944
	パーセント	67.1	24.4	2.0	0.5	5.9	100.0		
【性別】									
男性	度数	611	221	22	5	48	907	42	949
	パーセント	67.4	24.4	2.4	0.6	5.3	100.0		
女性	度数	641	228	16	7	87	979	52	1,031
	パーセント	65.5	23.3	1.6	0.7	8.9	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	820	318	31	10	85	1,264	33	1,297
	パーセント	64.9	25.2	2.5	0.8	6.7	100.0		
65歳以上	度数	426	130	7	2	48	613	60	673
	パーセント	69.5	21.2	1.1	0.3	7.8	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	165	54	9	2	13	243	7	250
	パーセント	67.9	22.2	3.7	0.8	5.3	100.0		
仙台圏域	度数	168	71	5	0	17	261	15	276
	パーセント	64.4	27.2	1.9	0.0	6.5	100.0		
大崎圏域	度数	171	67	5	3	22	268	19	287
	パーセント	63.8	25.0	1.9	1.1	8.2	100.0		
栗原圏域	度数	181	63	7	1	23	275	12	287
	パーセント	65.8	22.9	2.5	0.4	8.4	100.0		
登米圏域	度数	177	68	5	4	16	270	14	284
	パーセント	65.6	25.2	1.9	1.5	5.9	100.0		
石巻圏域	度数	175	66	5	0	20	266	13	279
	パーセント	65.8	24.8	1.9	0.0	7.5	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	183	48	2	1	15	249	7	256
	パーセント	73.5	19.3	0.8	0.4	6.0	100.0		

**【満足度】** (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は55.2%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は23.0%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が70.5%、『不満群』は29.5%となる。

■性別

男性の『満足群』は59.6%で、県全体より4.4ポイント高い。

女性の『満足群』は51.7%で、県全体より3.5ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は50.7%で、県全体より4.5ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は66.0%で、県全体より10.8ポイント高い。

■圏域別

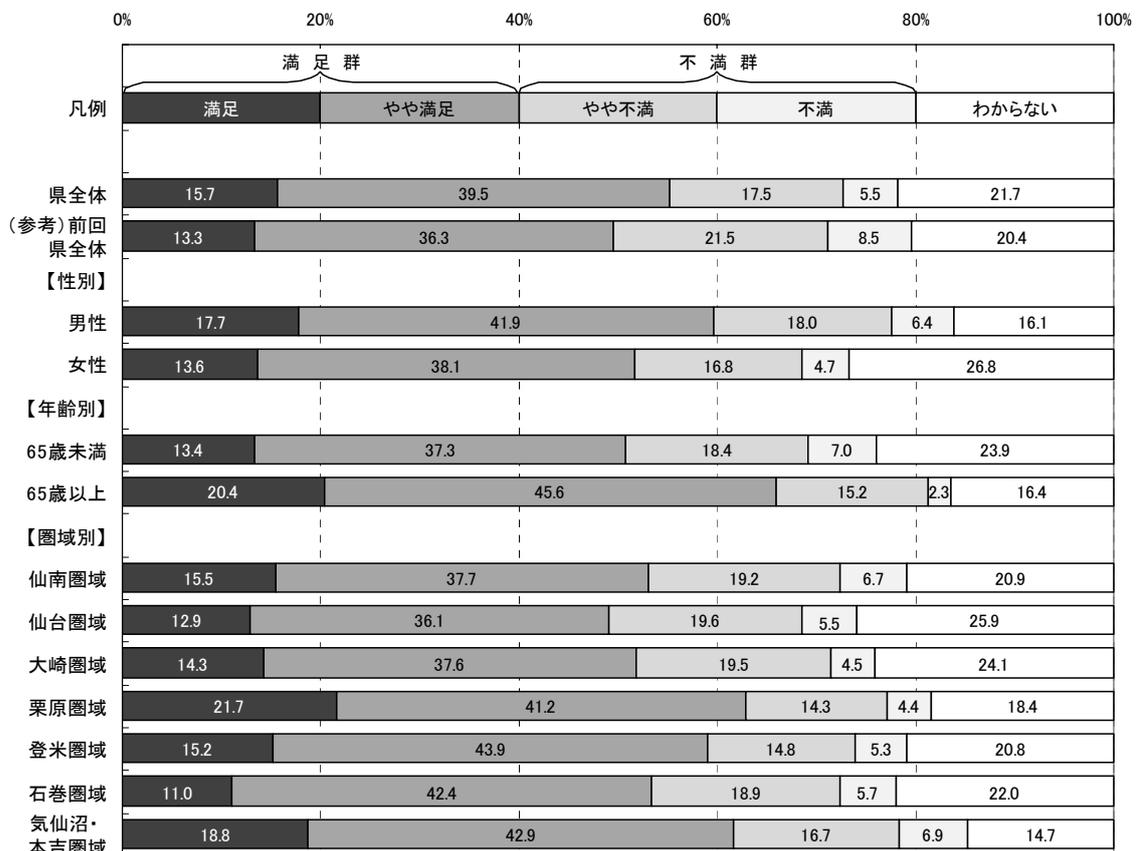
仙台圏域の『満足群』は49.0%で、県全体より6.2ポイント低い。

栗原圏域の『満足群』は62.9%で、県全体より7.7ポイント高い。

気仙沼・本吉圏域の『満足群』は61.7%で、県全体より6.5ポイント高い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-31-4 取組31 満足度割合(属性別)



取組31 「宮城県沖地震に備えた施設整備や  
情報ネットワークの充実」

表2-2-31-4 取組31 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	300	754	335	106	415	1,910	143	2,053
	パーセント	15.7	39.5	17.5	5.5	21.7	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	20.1	50.4	22.4	7.1		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	241	657	390	154	369	1,811	133	1,944
	パーセント	13.3	36.3	21.5	8.5	20.4	100.0		
【性別】									
男性	度数	159	375	161	57	144	896	53	949
	パーセント	17.7	41.9	18.0	6.4	16.1	100.0		
女性	度数	130	365	161	45	256	957	74	1,031
	パーセント	13.6	38.1	16.8	4.7	26.8	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	167	466	230	87	298	1,248	49	1,297
	パーセント	13.4	37.3	18.4	7.0	23.9	100.0		
65歳以上	度数	122	272	91	14	98	597	76	673
	パーセント	20.4	45.6	15.2	2.3	16.4	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	37	90	46	16	50	239	11	250
	パーセント	15.5	37.7	19.2	6.7	20.9	100.0		
仙台圏域	度数	33	92	50	14	66	255	21	276
	パーセント	12.9	36.1	19.6	5.5	25.9	100.0		
大崎圏域	度数	38	100	52	12	64	266	21	287
	パーセント	14.3	37.6	19.5	4.5	24.1	100.0		
栗原圏域	度数	59	112	39	12	50	272	15	287
	パーセント	21.7	41.2	14.3	4.4	18.4	100.0		
登米圏域	度数	40	116	39	14	55	264	20	284
	パーセント	15.2	43.9	14.8	5.3	20.8	100.0		
石巻圏域	度数	29	112	50	15	58	264	15	279
	パーセント	11.0	42.4	18.9	5.7	22.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	46	105	41	17	36	245	11	256
	パーセント	18.8	42.9	16.7	6.9	14.7	100.0		

## 【特に優先すべきと思う項目】

取組31に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 緊急輸送道路に当たる橋、物資輸送のための岸壁、防災拠点施設となる公共建築物の耐震化の促進や県立都市公園の防災機能の充実
- イ 電気、ガス、上下水道などの耐震化の促進
- ウ 住宅等の耐震化の促進
- エ 津波被害を防ぐ水門等の施設整備と、市町村や地域と連携した維持管理の充実
- オ 広報・避難誘導態勢の整備や、住民の防災意識の向上を図る津波に備えたまちづくりなどのソフト対策の促進
- カ 津波や地震などの観測体制の充実
- キ 宮城県総合防災情報システムなどの情報ネットワークの充実
- ク 国、市町村、大学、研究機関が連携して行う地震・津波の先端科学技術活用の促進

(参考: 目標とする宮城の姿)

- 主な防災拠点施設が耐震化されています。また、震災時にも、電気、ガス、上下水道など生活に欠かせない機能が確保されています。
- 県民や企業の耐震化への取組が進み、震災時の家屋倒壊等による被害が減少しています。
- 沿岸居住者や海岸利用者を守るためのさまざまな津波対策が進んでいます。
- 震度情報や津波観測情報などが県民にスムーズに伝わり、震災時には速やかな避難・救助が行われることで、人的被害が最小限となっています。
- 地震・津波の調査研究と先端科学技術の活用が進み、地震防災力が向上しています。

### <概要>

■県全体及び属性別（性別・年齢別・圏域別）の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	イ	イ	イ	イ	イ
第2位:	ア	ア	ア	ア	ア
第3位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	イ	イ	イ	イ	イ	イ	ア
第2位:	ア	ア	ア	ア	ア	ア	イエ
第3位:	キ	キ	キ	ウ	ウ	ウ	-

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-31-5 取組31 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

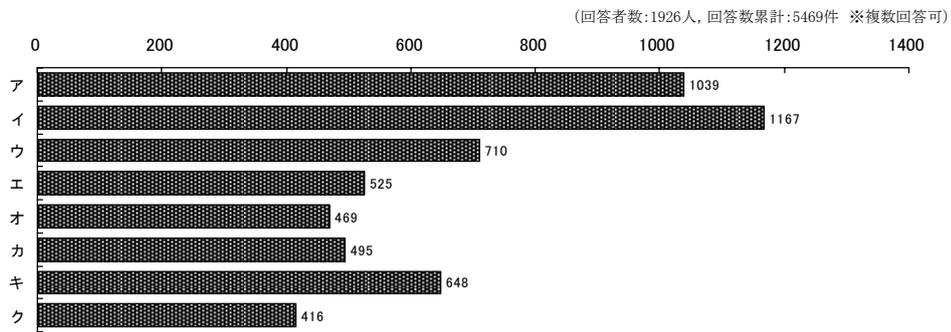
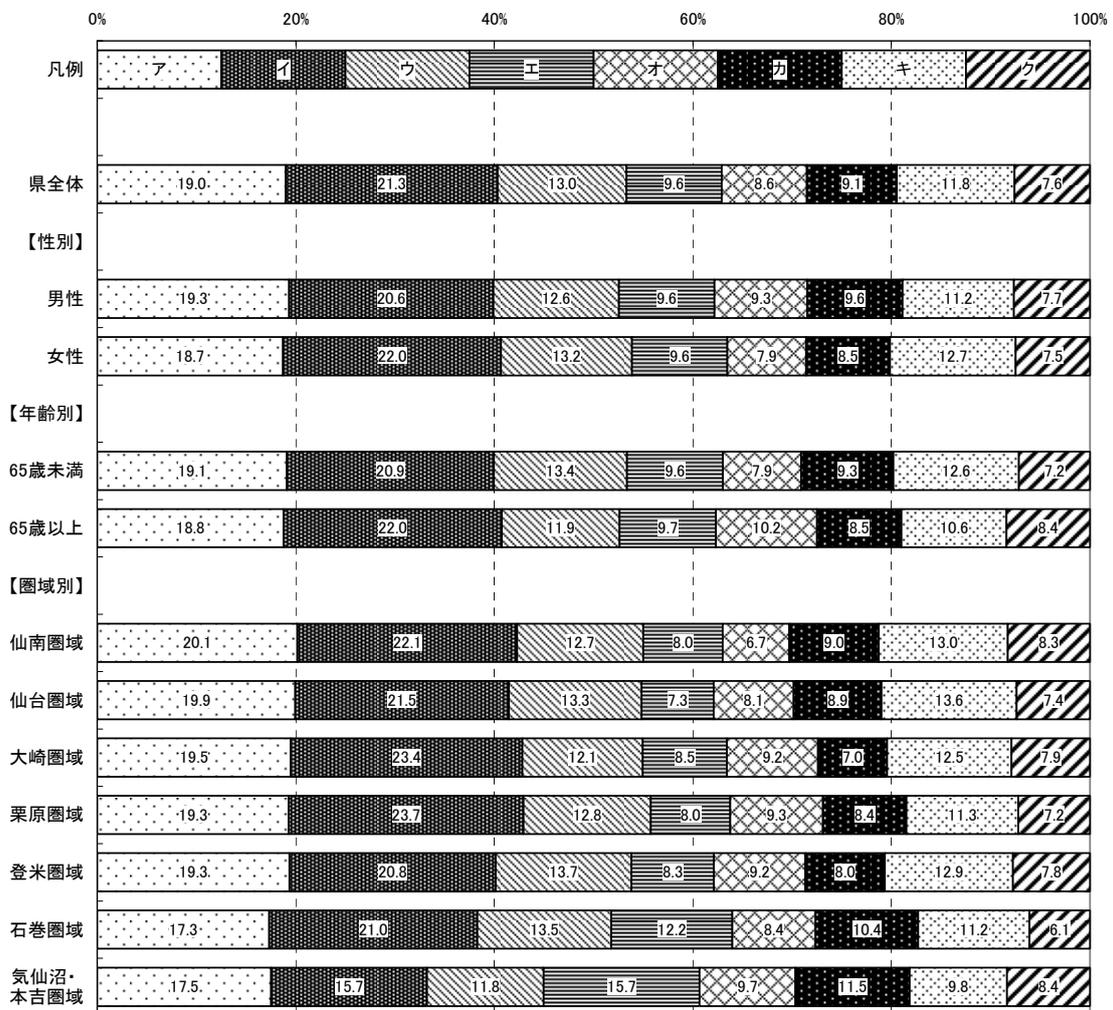


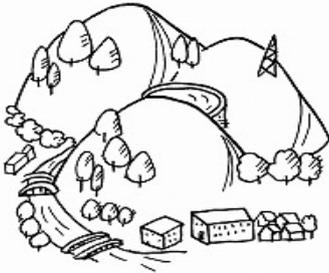
図2-2-31-6 取組31 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※ 本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組31 「宮城県沖地震に備えた施設整備や  
情報ネットワークの充実」

## 取組 3 2 洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進



### 取組概要

洪水被害や土石流、地滑り、がけ崩れなどの土砂災害・山地災害を防ぐため、危険度・優先度の高い箇所を明確にして、計画的かつ効果的な施設整備を目指します。また、洪水や土砂災害に関する防災情報を、より迅速かつ的確に県民へ提供するなどのソフト対策の推進を目指します。

### 平成 22 年度の主な取組

- 県民の安全安心のため、インターネットや携帯電話により、雨量や河川水位、土砂災害の情報提供を行っています。  
[参考]宮城県土木部総合情報システム <http://www.dobokusougou.pref.miyagi.jp/>
- 水害から県民の生命・財産を守るため、計画的に河川整備と堤防・護岸などの維持管理を行っています。  
[成果等]川内沢川放水路整備(平成 24 年度完成予定)
- 洪水時における関係機関との連絡体制を確認するとともに、危機管理意識の高揚を図るため、洪水対応演習を実施しています。  
[成果等]洪水対応演習 年 1 回(関係機関:国土交通省, 自衛隊, 県警, 他)
- 土砂災害から県民の生命を守るため、土砂災害防止施設(砂防施設・地すべり防止施設・急傾斜地崩壊防止施設)の整備を実施しています。  
[成果等]平成 22 年度の砂防系事業実施箇所 35 箇所
- 土砂災害危険箇所住民の避難意識を向上させるため、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定を実施しています。  
[成果等]平成 22 年度の土砂災害警戒区域指定数 70 箇所(平成 22 年 10 月末現在)
- 早期避難を支援するため、住民が登録した携帯電話に土砂災害警戒情報等をメール配信しています。  
[参考]宮城県土砂災害警戒情報システム携帯版 <http://www.doshasaigai.pref.miyagi.jp/midski/m/>
- 山地災害から県民の生命・財産を守るため、荒廃した溪流や崩壊地に治山施設を整備するとともに、保安林の間伐などを行い森林の機能強化を進めています。  
[成果等]平成 22 年度の治山事業実施箇所 61 箇所

**【認知度】** (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は44.1%、  
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は56.0%である。

■性別

男性の『高認知群』は50.6%で、県全体より6.5ポイント高い。

女性の『高認知群』は37.1%で、県全体より7.0ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高認知群』は36.7%で、県全体より7.4ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は58.4%で、県全体より14.3ポイント高い。

■圏域別

仙南圏域の『高認知群』は36.0%で、県全体より8.1ポイント低い。

栗原圏域の『高認知群』は50.8%で、県全体より6.7ポイント高い。

石巻圏域の『高認知群』は39.0%で、県全体より5.1ポイント低い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-32-1 取組32 認知度割合(属性別)

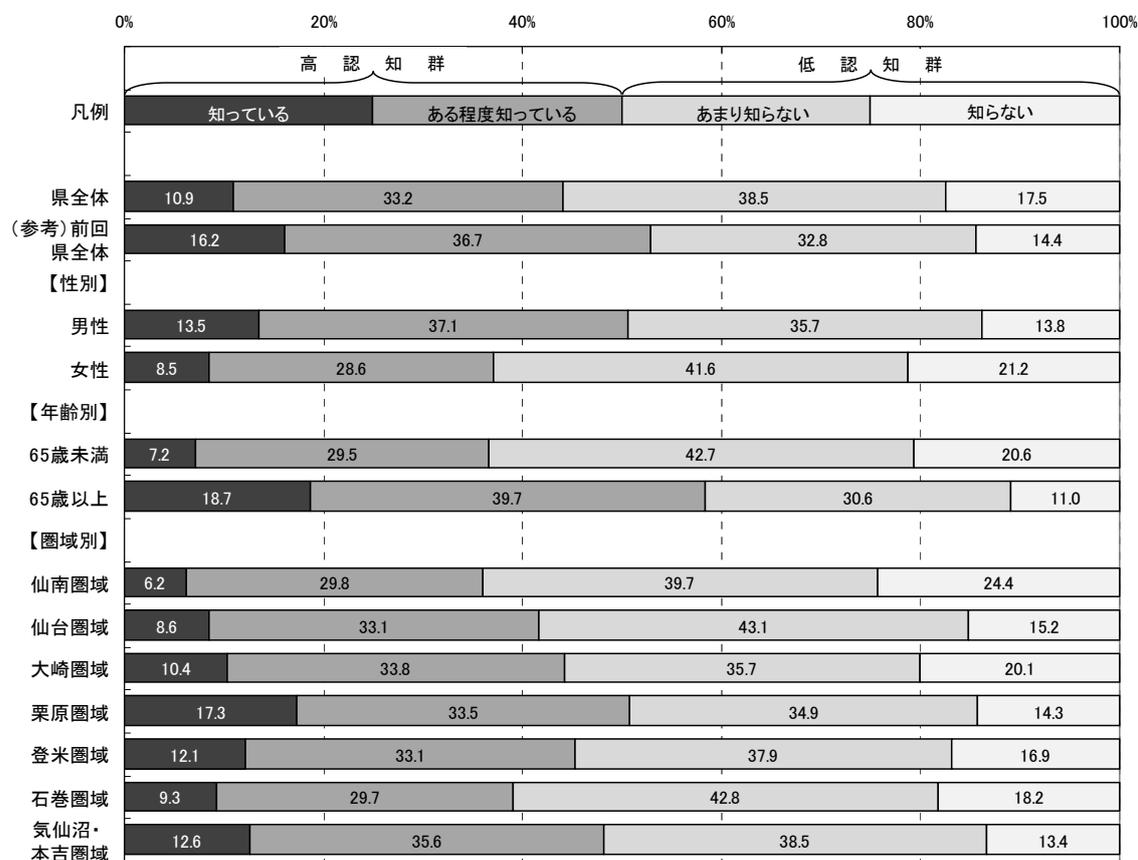


表2-2-32-1 取組32 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	212	646	750	340	1,948	105	2,053
	パーセント	10.9	33.2	38.5	17.5	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	303	687	614	269	1,873	71	1,944
	パーセント	16.2	36.7	32.8	14.4	100.0		
【性別】								
男性	度数	122	336	323	125	906	43	949
	パーセント	13.5	37.1	35.7	13.8	100.0		
女性	度数	84	282	410	209	985	46	1,031
	パーセント	8.5	28.6	41.6	21.2	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	91	372	539	260	1,262	35	1,297
	パーセント	7.2	29.5	42.7	20.6	100.0		
65歳以上	度数	116	246	190	68	620	53	673
	パーセント	18.7	39.7	30.6	11.0	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	15	72	96	59	242	8	250
	パーセント	6.2	29.8	39.7	24.4	100.0		
仙台圏域	度数	23	89	116	41	269	7	276
	パーセント	8.6	33.1	43.1	15.2	100.0		
大崎圏域	度数	28	91	96	54	269	18	287
	パーセント	10.4	33.8	35.7	20.1	100.0		
栗原圏域	度数	47	91	95	39	272	15	287
	パーセント	17.3	33.5	34.9	14.3	100.0		
登米圏域	度数	33	90	103	46	272	12	284
	パーセント	12.1	33.1	37.9	16.9	100.0		
石巻圏域	度数	25	80	115	49	269	10	279
	パーセント	9.3	29.7	42.8	18.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	31	88	95	33	247	9	256
	パーセント	12.6	35.6	38.5	13.4	100.0		

**【関心度】** (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■ 県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は80.8%、  
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は19.2%である。

■ 性別

男性の『高関心群』は83.9%で、県全体より3.1ポイント高い。

女性の『高関心群』は78.0%で、県全体より2.8ポイント低い。

■ 年齢別

65歳未満の『高関心群』は77.9%で、県全体より2.9ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は86.7%で、県全体より5.9ポイント高い。

■ 圏域別

気仙沼・本吉圏域の『高関心群』は86.7ポイントで、県全体より5.9ポイント高い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-32-2 取組32 関心度割合(属性別)

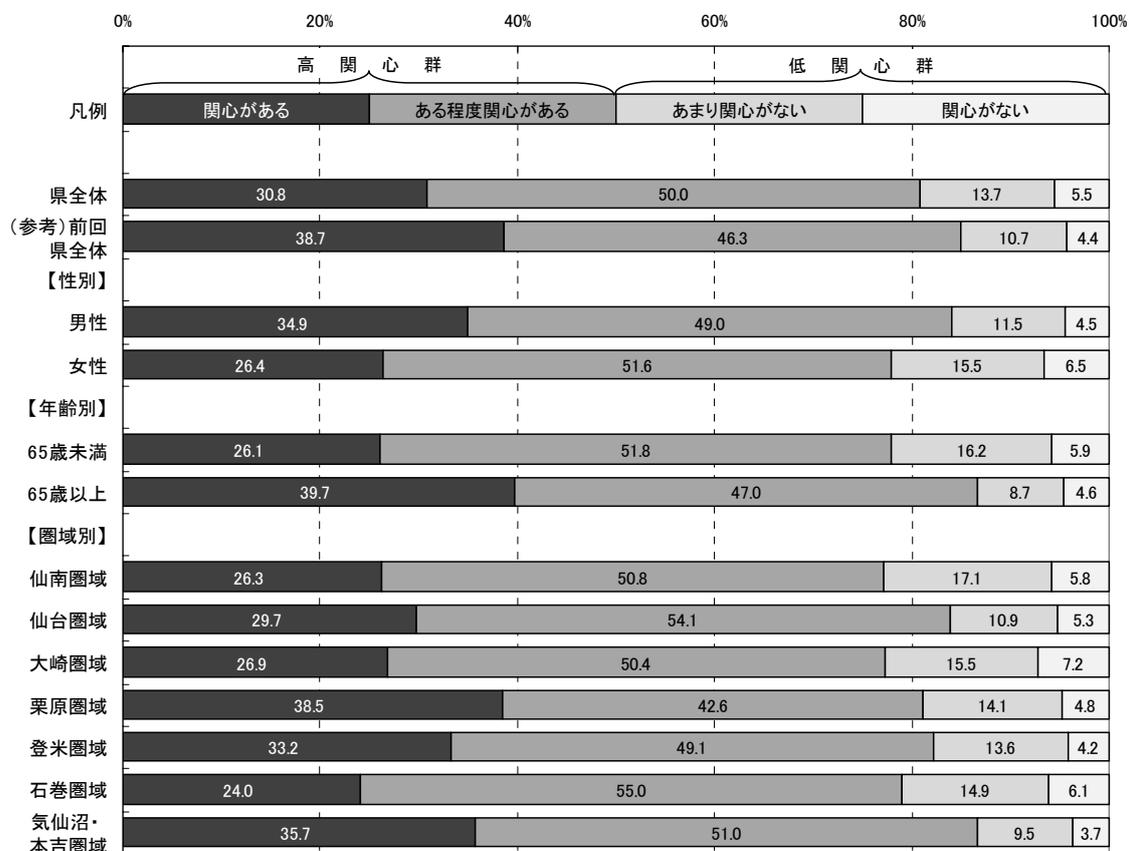


表2-2-32-2 取組32 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	589	958	262	106	1,915	138	2,053
	パーセント	30.8	50.0	13.7	5.5	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	710	850	196	80	1,836	108	1,944
	パーセント	38.7	46.3	10.7	4.4	100.0		
【性別】								
男性	度数	312	438	103	40	893	56	949
	パーセント	34.9	49.0	11.5	4.5	100.0		
女性	度数	255	498	150	63	966	65	1,031
	パーセント	26.4	51.6	15.5	6.5	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	324	643	201	73	1,241	56	1,297
	パーセント	26.1	51.8	16.2	5.9	100.0		
65歳以上	度数	242	286	53	28	609	64	673
	パーセント	39.7	47.0	8.7	4.6	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	63	122	41	14	240	10	250
	パーセント	26.3	50.8	17.1	5.8	100.0		
仙台圏域	度数	79	144	29	14	266	10	276
	パーセント	29.7	54.1	10.9	5.3	100.0		
大崎圏域	度数	71	133	41	19	264	23	287
	パーセント	26.9	50.4	15.5	7.2	100.0		
栗原圏域	度数	104	115	38	13	270	17	287
	パーセント	38.5	42.6	14.1	4.8	100.0		
登米圏域	度数	88	130	36	11	265	19	284
	パーセント	33.2	49.1	13.6	4.2	100.0		
石巻圏域	度数	63	144	39	16	262	17	279
	パーセント	24.0	55.0	14.9	6.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	86	123	23	9	241	15	256
	パーセント	35.7	51.0	9.5	3.7	100.0		

**【重視度】** (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は82.7%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は4.8%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が94.5%、『低重視群』は5.5%となる。

■性別

男性の『高重視群』は84.8%で、県全体より2.1ポイント高い。

女性の『高重視群』は80.7%で、県全体より2.0ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は81.0%で、県全体より1.7ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は86.6%で、県全体より3.9ポイント低い。

■圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-32-3 取組32 重視度割合(属性別)

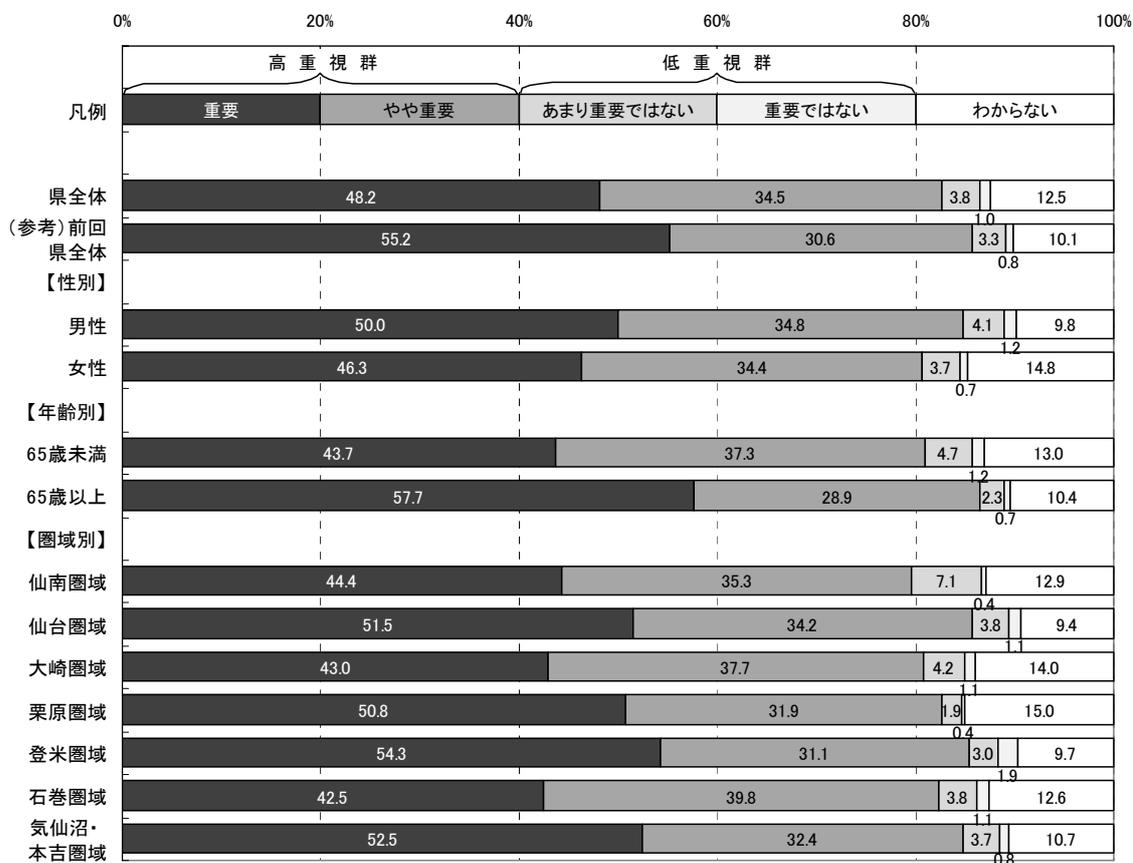


表2-2-32-3 取組32 重視度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない	合計		
県全体	度数	919	659	73	19	238	1,908	145	2,053
	パーセント	48.2	34.5	3.8	1.0	12.5	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	55.0	39.5	4.4	1.1		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	1,015	563	61	14	186	1,839	105	1,944
	パーセント	55.2	30.6	3.3	0.8	10.1	100.0		
【性別】									
男性	度数	447	311	37	11	88	894	55	949
	パーセント	50.0	34.8	4.1	1.2	9.8	100.0		
女性	度数	445	331	36	7	142	961	70	1,031
	パーセント	46.3	34.4	3.7	0.7	14.8	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	543	464	59	15	162	1,243	54	1,297
	パーセント	43.7	37.3	4.7	1.2	13.0	100.0		
65歳以上	度数	348	174	14	4	63	603	70	673
	パーセント	57.7	28.9	2.3	0.7	10.4	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	107	85	17	1	31	241	9	250
	パーセント	44.4	35.3	7.1	0.4	12.9	100.0		
仙台圏域	度数	137	91	10	3	25	266	10	276
	パーセント	51.5	34.2	3.8	1.1	9.4	100.0		
大崎圏域	度数	114	100	11	3	37	265	22	287
	パーセント	43.0	37.7	4.2	1.1	14.0	100.0		
栗原圏域	度数	132	83	5	1	39	260	27	287
	パーセント	50.8	31.9	1.9	0.4	15.0	100.0		
登米圏域	度数	145	83	8	5	26	267	17	284
	パーセント	54.3	31.1	3.0	1.9	9.7	100.0		
石巻圏域	度数	111	104	10	3	33	261	18	279
	パーセント	42.5	39.8	3.8	1.1	12.6	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	128	79	9	2	26	244	12	256
	パーセント	52.5	32.4	3.7	0.8	10.7	100.0		

**【満足度】** (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は46.0%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は22.0%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が67.7%、『不満群』は32.3%となる。

■性別

男性の『満足群』は48.0%で、県全体より2.0ポイント高い。

女性の『満足群』は44.4%で、県全体より1.6ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は40.7%で、県全体より5.3ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は58.2%で、県全体より12.2ポイント高い。

■圏域別

栗原圏域の『満足群』は54.0%で、県全体より8.0ポイント高い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-32-4 取組32 満足度割合(属性別)

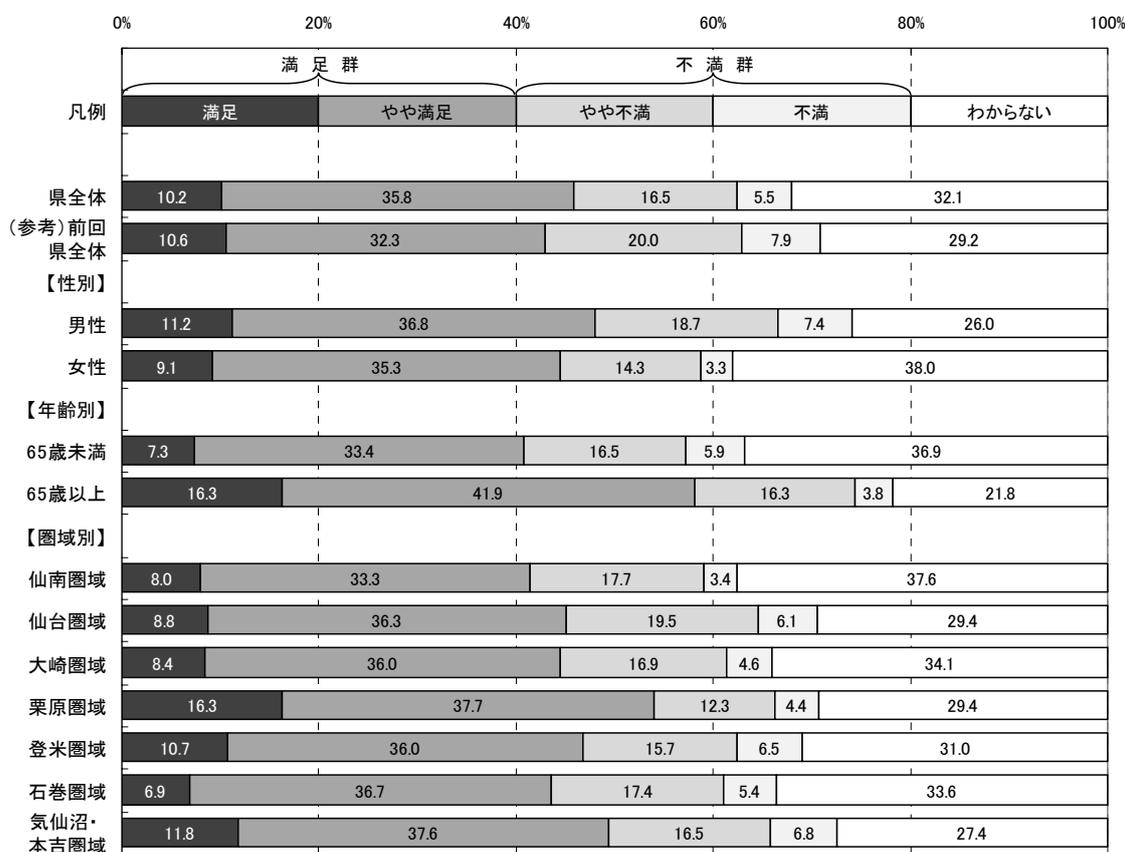


表2-2-32-4 取組32 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	190	668	308	102	600	1,868	185	2,053
	パーセント	10.2	35.8	16.5	5.5	32.1	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	15.0	52.7	24.3	8.0		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	193	586	362	143	530	1,814	130	1,944
	パーセント	10.6	32.3	20.0	7.9	29.2	100.0		
【性別】									
男性	度数	98	323	164	65	228	878	71	949
	パーセント	11.2	36.8	18.7	7.4	26.0	100.0		
女性	度数	86	332	134	31	357	940	91	1,031
	パーセント	9.1	35.3	14.3	3.3	38.0	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	90	410	202	72	452	1,226	71	1,297
	パーセント	7.3	33.4	16.5	5.9	36.9	100.0		
65歳以上	度数	95	244	95	22	127	583	90	673
	パーセント	16.3	41.9	16.3	3.8	21.8	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	19	79	42	8	89	237	13	250
	パーセント	8.0	33.3	17.7	3.4	37.6	100.0		
仙台圏域	度数	23	95	51	16	77	262	14	276
	パーセント	8.8	36.3	19.5	6.1	29.4	100.0		
大崎圏域	度数	22	94	44	12	89	261	26	287
	パーセント	8.4	36.0	16.9	4.6	34.1	100.0		
栗原圏域	度数	41	95	31	11	74	252	35	287
	パーセント	16.3	37.7	12.3	4.4	29.4	100.0		
登米圏域	度数	28	94	41	17	81	261	23	284
	パーセント	10.7	36.0	15.7	6.5	31.0	100.0		
石巻圏域	度数	18	95	45	14	87	259	20	279
	パーセント	6.9	36.7	17.4	5.4	33.6	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	28	89	39	16	65	237	19	256
	パーセント	11.8	37.6	16.5	6.8	27.4	100.0		

## 【特に優先すべきと思う項目】

取組3 2に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 宮城県河川流域情報システムなどによる洪水情報提供体制の充実
- イ 洪水被害を防ぐための効果的な河川等の整備
- ウ 洪水対応演習等による洪水時連絡体制の充実や災害対策意識を高めるための啓発
- エ 土砂災害を防ぐための砂防ダムなど土砂災害を防止する施設の整備
- オ 宮城県砂防総合情報システムなどによる土砂災害情報提供体制の充実と、土砂災害警戒区域の指定などによる市町村と連携した警戒避難体制の整備
- カ 山地災害を防ぎ、水源のかん養、生活環境の保全を図るための治山施設の整備

(参考:目標とする宮城の姿)

- 市町村と連携しながら、避難路や災害に関する情報を県民に伝えることで、洪水や土砂崩れなどへの備えが進んでいます。
- 洪水が起きた場合に大きな被害が予想される、市街地を守るための河川整備が進んでいます。
- がけ崩れなどが起きた場合に孤立の恐れがある集落や、避難に特別な配慮を要する人が多くいる施設(老人保健施設、保育所、病院など)、避難所、避難路などを守るための対策が進んでいます。
- 豪雨による土石流の発生など、山地災害が少なくなっています。

### <概要>

■県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別		
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	
第1位:	イ	イ	イ	イ	イ	
第2位:	オ	ア	オ	オ	オ	
第3位:	ア	オ	エ	ア	ア	

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
第2位:	オ	オ	ア	エ	ア	オ	オ
第3位:	エ	エ	オ	オ	オ	ア	カ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-32-5 取組32 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

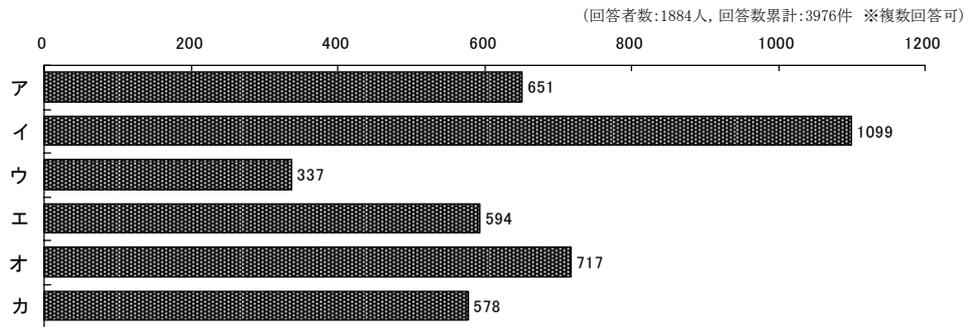
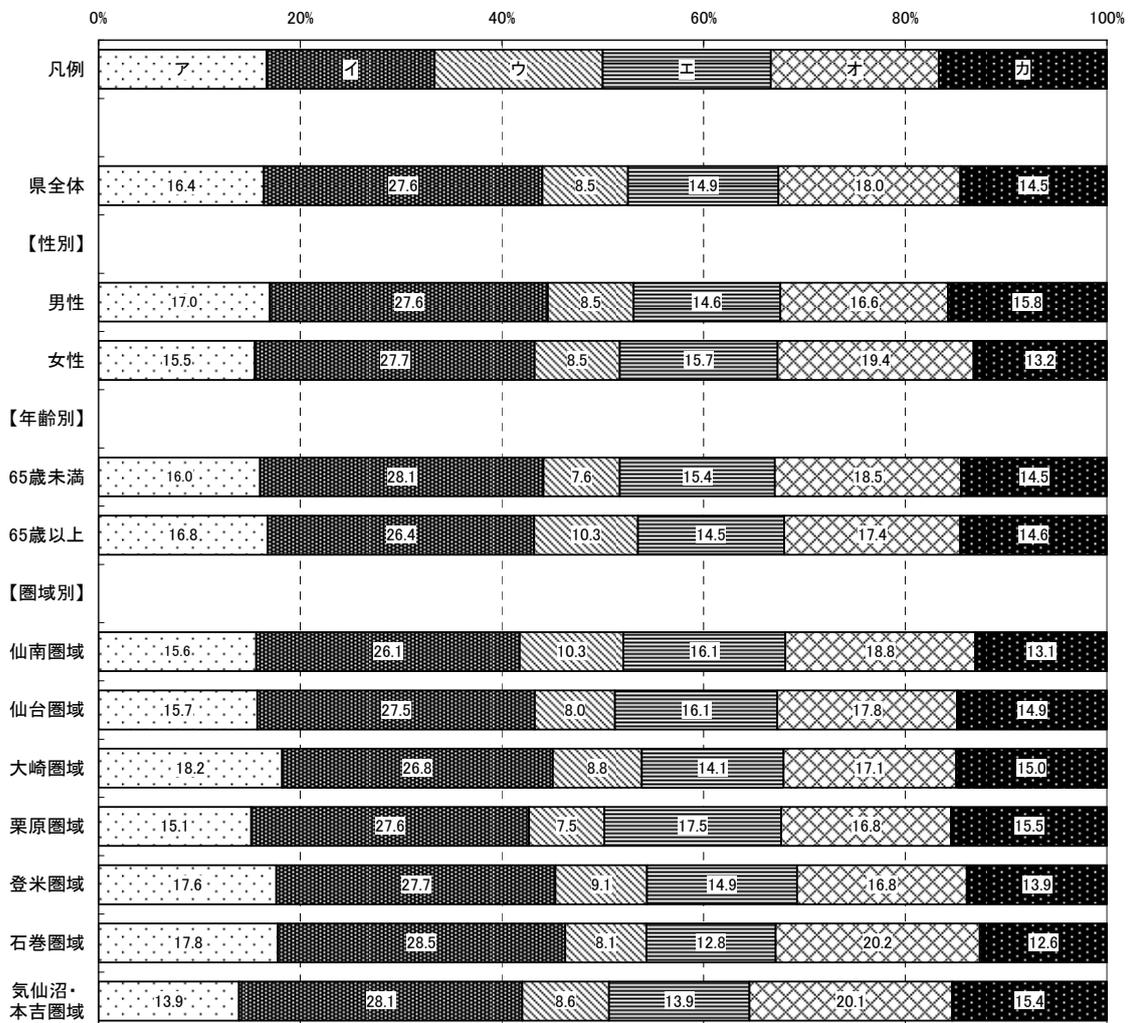


図2-2-32-6 取組32 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※ 本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組3 2 「洪水や土砂災害などの大規模  
自然災害対策の推進」

### 取組 3 3 地域ぐるみの防災体制の充実



#### 取組概要

災害発生時の減災には、地域防災力の強化・向上が重要であることから、住民の自主防災活動と企業の防災活動等を促進するとともに、これらの活動のリーダーとなる人材育成や関係団体との連携強化を行うなど防災体制の充実を目指します。

#### 平成 22 年度の主な取組

- 地域防災力を向上させるため、住民による自主防災活動と企業の防災活動を促進するとともに、防災活動の核となる人材育成のための研修を実施しています。  
[成果等] 研修会実施回数 22 回予定
- 災害時に災害ボランティア活動が迅速かつ効果的にできる体制を整備するため、災害ボランティアコーディネーター養成研修等の実施や関係団体との連携強化を図っています。  
[成果等] 研修会実施回数 9 回予定
- 大規模な地震など緊急事態が起きても、企業の重要な事業を継続(あるいは速やかに復旧)できるように、県内の企業が取り組む防災対策への支援をしています。  
[成果等] BCP(事業継続計画)普及啓発活動実施先県内企業数 108 社(平成 22 年 10 月末現在)

**【認知度】** (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は44.2%、  
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は55.8%である。

■性別

男性の『高認知群』は46.6%で、県全体より2.4ポイント高い。  
女性の『高認知群』は41.7%で、県全体より2.5ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高認知群』は38.3%で、県全体より5.9ポイント低い。  
65歳以上の『高認知群』は56.5%で、県全体より12.3ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-33-1 取組33 認知度割合(属性別)

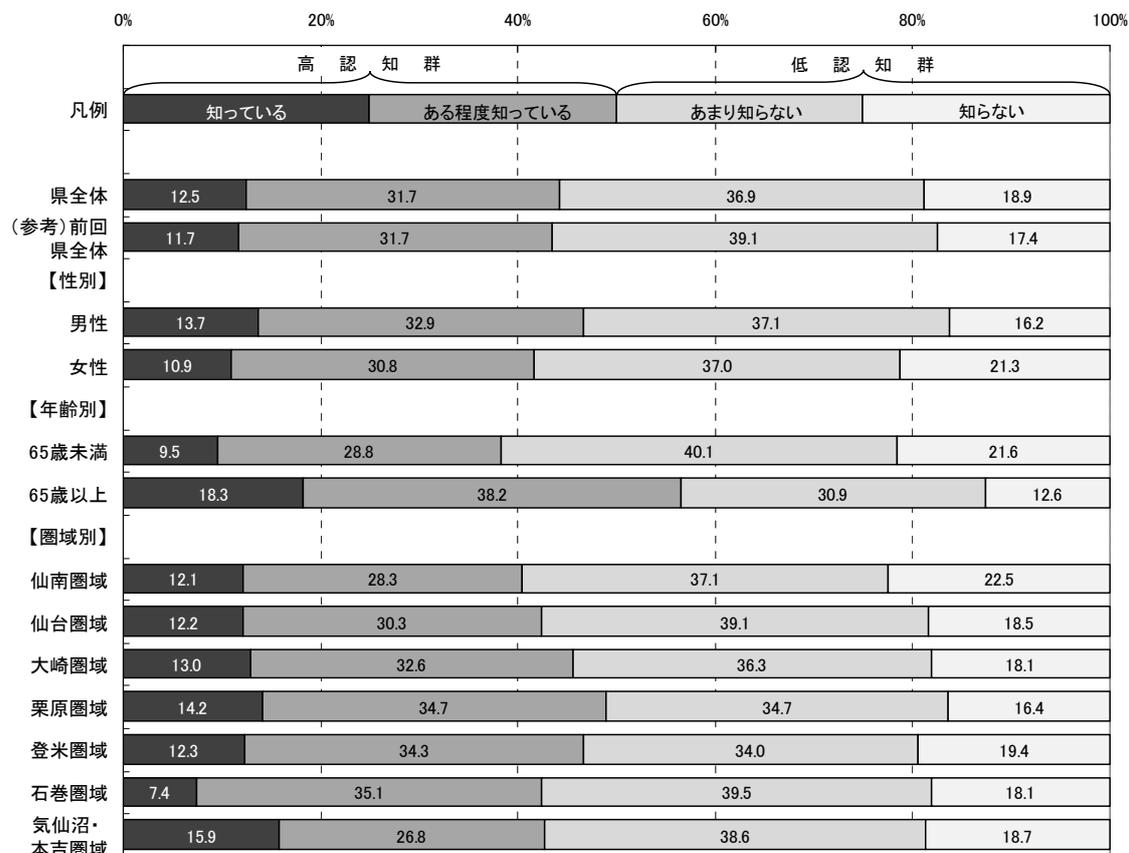


表2-2-33-1 取組33 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	243	615	715	367	1,940	113	2,053
	パーセント	12.5	31.7	36.9	18.9	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	219	592	730	325	1,866	78	1,944
	パーセント	11.7	31.7	39.1	17.4	100.0		
【性別】								
男性	度数	124	297	335	146	902	47	949
	パーセント	13.7	32.9	37.1	16.2	100.0		
女性	度数	107	302	363	209	981	50	1,031
	パーセント	10.9	30.8	37.0	21.3	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	120	364	506	272	1,262	35	1,297
	パーセント	9.5	28.8	40.1	21.6	100.0		
65歳以上	度数	112	234	189	77	612	61	673
	パーセント	18.3	38.2	30.9	12.6	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	29	68	89	54	240	10	250
	パーセント	12.1	28.3	37.1	22.5	100.0		
仙台圏域	度数	33	82	106	50	271	5	276
	パーセント	12.2	30.3	39.1	18.5	100.0		
大崎圏域	度数	35	88	98	49	270	17	287
	パーセント	13.0	32.6	36.3	18.1	100.0		
栗原圏域	度数	38	93	93	44	268	19	287
	パーセント	14.2	34.7	34.7	16.4	100.0		
登米圏域	度数	33	92	91	52	268	16	284
	パーセント	12.3	34.3	34.0	19.4	100.0		
石巻圏域	度数	20	95	107	49	271	8	279
	パーセント	7.4	35.1	39.5	18.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	39	66	95	46	246	10	256
	パーセント	15.9	26.8	38.6	18.7	100.0		

**【関心度】** (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は79.2%、  
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は20.9%である。

■性別

男性の『高関心群』は80.7%で、県全体より1.5ポイント高い。

女性の『高関心群』は77.9%で、県全体より1.3ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高関心群』は76.8%で、県全体より2.4ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は84.6%で、県全体より5.4ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-33-2 取組33 関心度割合(属性別)

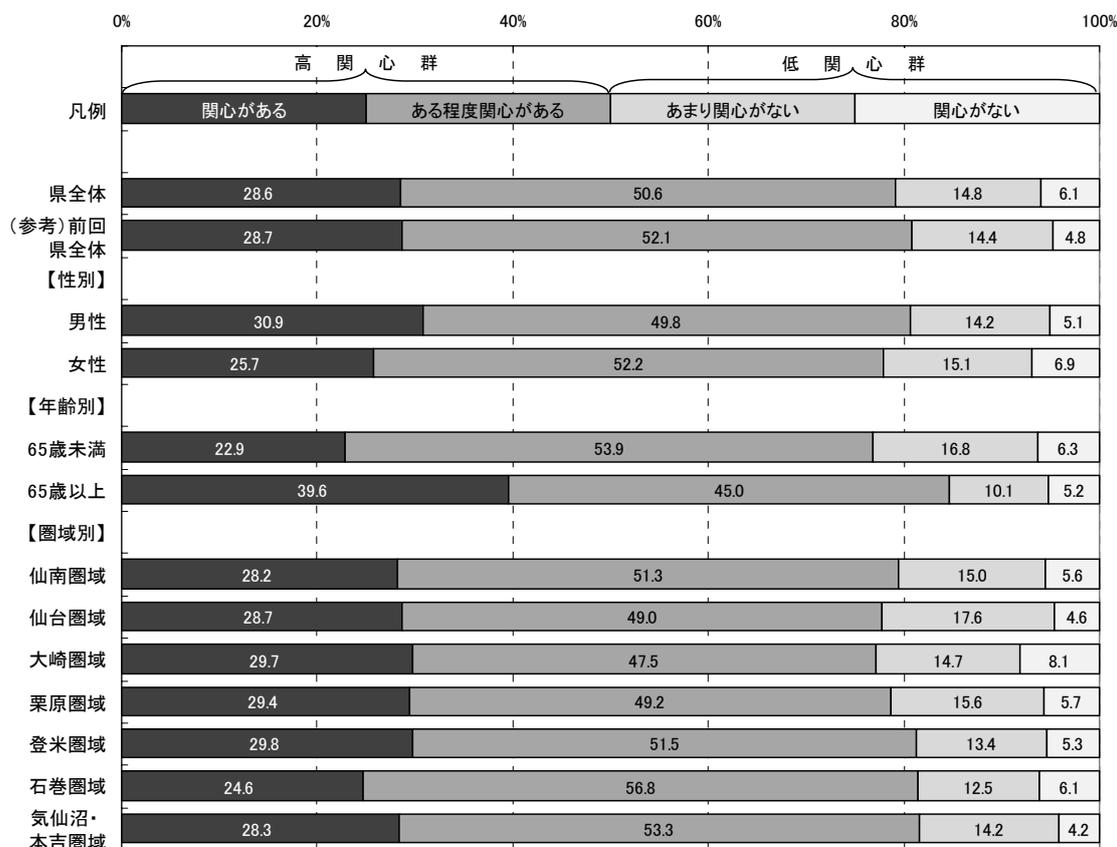


表2-2-33-2 取組33 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	538	954	278	114	1,884	169	2,053
	パーセント	28.6	50.6	14.8	6.1	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	522	946	262	87	1,817	127	1,944
	パーセント	28.7	52.1	14.4	4.8	100.0		
【性別】								
男性	度数	274	442	126	45	887	62	949
	パーセント	30.9	49.8	14.2	5.1	100.0		
女性	度数	243	493	143	65	944	87	1,031
	パーセント	25.7	52.2	15.1	6.9	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	281	663	207	78	1,229	68	1,297
	パーセント	22.9	53.9	16.8	6.3	100.0		
65歳以上	度数	235	267	60	31	593	80	673
	パーセント	39.6	45.0	10.1	5.2	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	66	120	35	13	234	16	250
	パーセント	28.2	51.3	15.0	5.6	100.0		
仙台圏域	度数	75	128	46	12	261	15	276
	パーセント	28.7	49.0	17.6	4.6	100.0		
大崎圏域	度数	77	123	38	21	259	28	287
	パーセント	29.7	47.5	14.7	8.1	100.0		
栗原圏域	度数	77	129	41	15	262	25	287
	パーセント	29.4	49.2	15.6	5.7	100.0		
登米圏域	度数	78	135	35	14	262	22	284
	パーセント	29.8	51.5	13.4	5.3	100.0		
石巻圏域	度数	65	150	33	16	264	15	279
	パーセント	24.6	56.8	12.5	6.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	68	128	34	10	240	16	256
	パーセント	28.3	53.3	14.2	4.2	100.0		

**【重視度】** (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は80.9%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は5.5%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が93.7%、『低重視群』は6.3%となる。

■性別

男性の『高重視群』は83.2%で、県全体より2.3ポイント高い。

女性の『高重視群』は79.3%で、県全体より1.6ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は80.0%で、県全体より0.9ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は84.0%で、県全体より3.1ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-33-3 取組33 重視度割合(属性別)

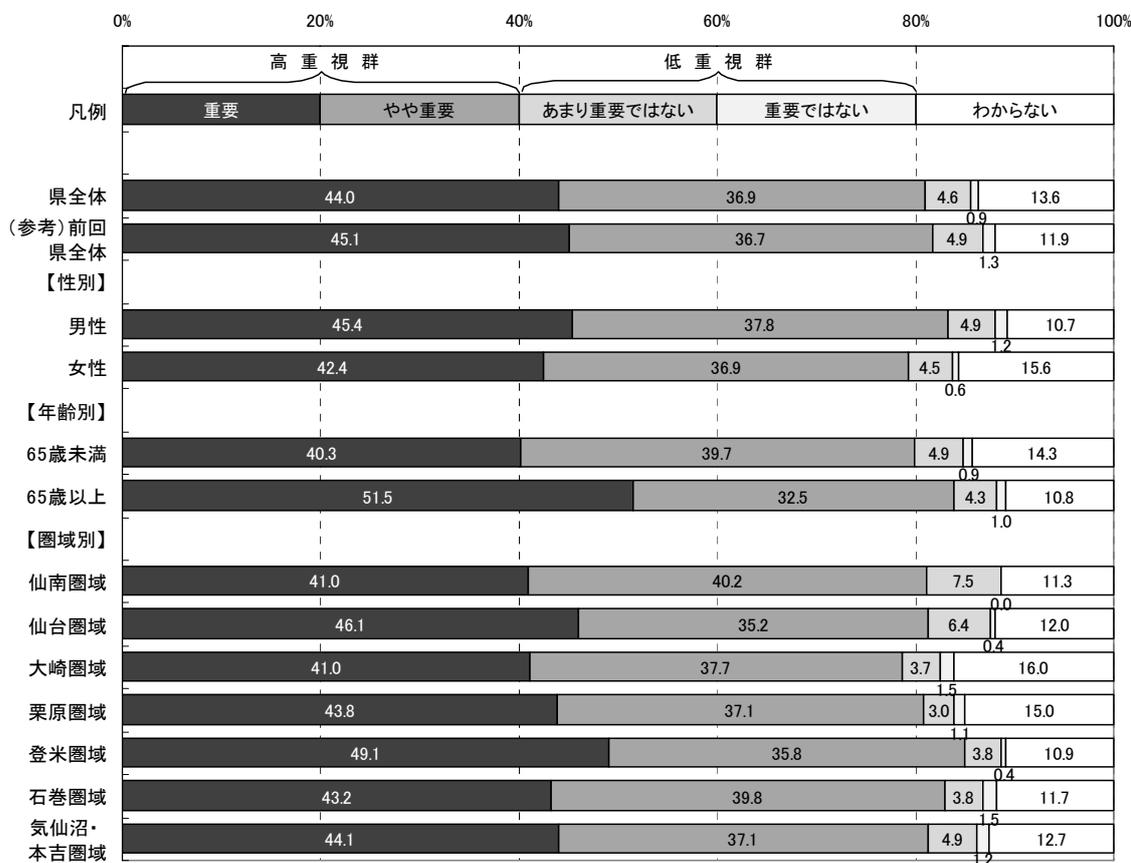


表2-2-33-3 取組33 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	846	709	88	17	261	1,921	132	2,053
	パーセント	44.0	36.9	4.6	0.9	13.6	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	51.0	42.7	5.3	1.0		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	823	670	90	24	218	1,825	119	1,944
	パーセント	45.1	36.7	4.9	1.3	11.9	100.0		
【性別】									
男性	度数	409	340	44	11	96	900	49	949
	パーセント	45.4	37.8	4.9	1.2	10.7	100.0		
女性	度数	410	356	43	6	151	966	65	1,031
	パーセント	42.4	36.9	4.5	0.6	15.6	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	502	495	61	11	178	1,247	50	1,297
	パーセント	40.3	39.7	4.9	0.9	14.3	100.0		
65歳以上	度数	314	198	26	6	66	610	63	673
	パーセント	51.5	32.5	4.3	1.0	10.8	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	98	96	18	0	27	239	11	250
	パーセント	41.0	40.2	7.5	0.0	11.3	100.0		
仙台圏域	度数	123	94	17	1	32	267	9	276
	パーセント	46.1	35.2	6.4	0.4	12.0	100.0		
大崎圏域	度数	110	101	10	4	43	268	19	287
	パーセント	41.0	37.7	3.7	1.5	16.0	100.0		
栗原圏域	度数	117	99	8	3	40	267	20	287
	パーセント	43.8	37.1	3.0	1.1	15.0	100.0		
登米圏域	度数	130	95	10	1	29	265	19	284
	パーセント	49.1	35.8	3.8	0.4	10.9	100.0		
石巻圏域	度数	114	105	10	4	31	264	15	279
	パーセント	43.2	39.8	3.8	1.5	11.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	108	91	12	3	31	245	11	256
	パーセント	44.1	37.1	4.9	1.2	12.7	100.0		

**【満足度】** (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

<概要>

■県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は46.9%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は20.7%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が69.4%、『不満群』は30.6%となる。

■性別

男性の『満足群』は49.9%で、県全体より3.0ポイント高い。

女性の『満足群』は44.4%で、県全体より2.5ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『満足群』は41.7%で、県全体より5.2ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は58.9%で、県全体より12.0ポイント高い。

■圏域別

栗原圏域の『満足群』は54.0%で、県全体より7.1ポイント高い。

石巻圏域の『満足群』は41.8%で、県全体より5.1ポイント低い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-33-4 取組33 満足度割合(属性別)

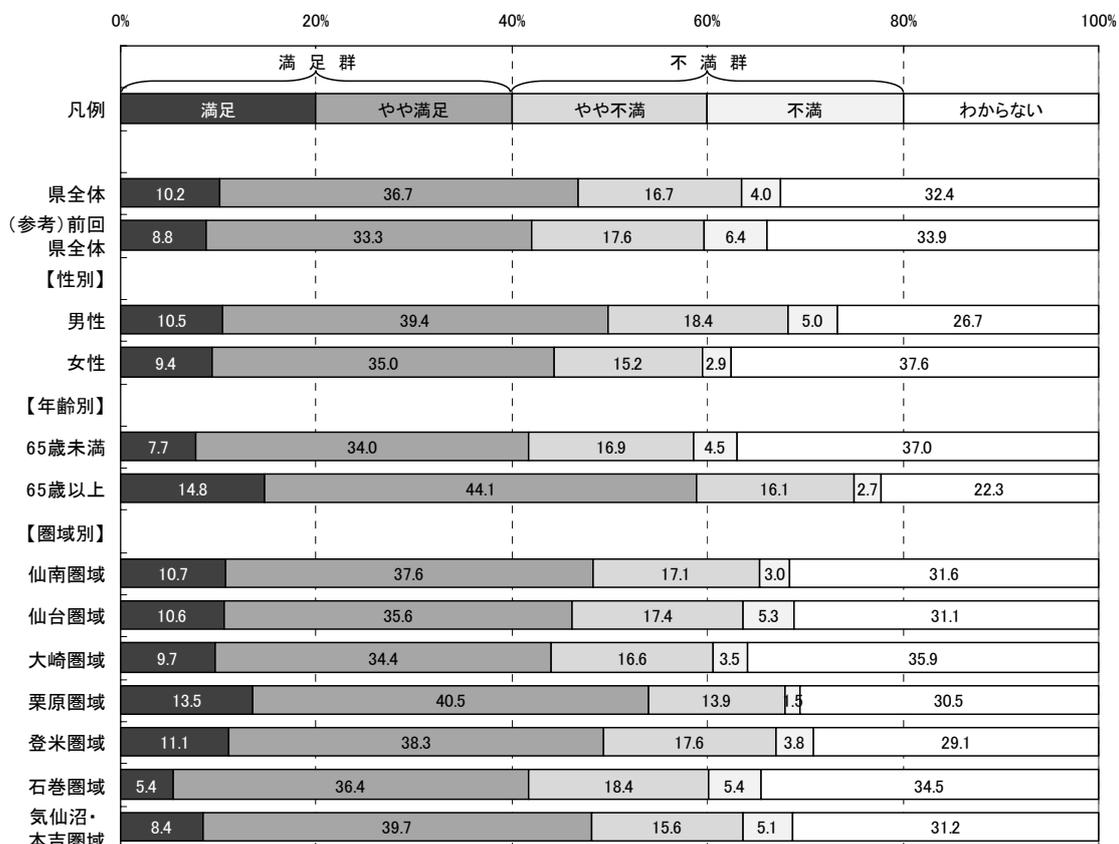


表2-2-33-4 取組33 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	191	687	313	75	608	1,874	179	2,053
	パーセント	10.2	36.7	16.7	4.0	32.4	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	15.1	54.3	24.7	5.9		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	158	598	316	115	609	1,796	148	1,944
	パーセント	8.8	33.3	17.6	6.4	33.9	100.0		
<b>【性別】</b>									
男性	度数	92	346	162	44	235	879	70	949
	パーセント	10.5	39.4	18.4	5.0	26.7	100.0		
女性	度数	88	329	143	27	354	941	90	1,031
	パーセント	9.4	35.0	15.2	2.9	37.6	100.0		
<b>【年齢別】</b>									
65歳未満	度数	95	417	207	55	454	1,228	69	1,297
	パーセント	7.7	34.0	16.9	4.5	37.0	100.0		
65歳以上	度数	86	257	94	16	130	583	90	673
	パーセント	14.8	44.1	16.1	2.7	22.3	100.0		
<b>【圏域別】</b>									
仙南圏域	度数	25	88	40	7	74	234	16	250
	パーセント	10.7	37.6	17.1	3.0	31.6	100.0		
仙台圏域	度数	28	94	46	14	82	264	12	276
	パーセント	10.6	35.6	17.4	5.3	31.1	100.0		
大崎圏域	度数	25	89	43	9	93	259	28	287
	パーセント	9.7	34.4	16.6	3.5	35.9	100.0		
栗原圏域	度数	35	105	36	4	79	259	28	287
	パーセント	13.5	40.5	13.9	1.5	30.5	100.0		
登米圏域	度数	29	100	46	10	76	261	23	284
	パーセント	11.1	38.3	17.6	3.8	29.1	100.0		
石巻圏域	度数	14	95	48	14	90	261	18	279
	パーセント	5.4	36.4	18.4	5.4	34.5	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	20	94	37	12	74	237	19	256
	パーセント	8.4	39.7	15.6	5.1	31.2	100.0		

## 【特に優先すべきと思う項目】

取組33に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 高齢者、障害者などの要援護者をはじめとした住民の速やかな避難体制や避難所運営体制づくりへの支援
- イ 災害ボランティアの受入れや活動がスムーズに行えるための体制づくりへの支援と、民間団体との協力体制づくり
- ウ 自主防災組織の育成、防災訓練への参加促進、幼年期からの防災教育の充実
- エ 行政や関係機関での、防災に関する深い知識や高い判断能力を持った防災担当職員の育成
- オ 企業や地域において防災活動の中心となる防災リーダーの育成
- カ 企業におけるBCP(緊急時でも被害を最小限に食い止め、事業を継続・早期復旧できるようにするために定める計画)作成など企業の防災対策への支援

(参考:目標とする宮城の姿)

- 災害情報が、いち早く住民に伝えられ、素早く、的確な避難等ができています。
- 災害時に、避難に特別な配慮を要する高齢者・幼児・障害者等をはじめとした住民の安全が確保され、被災後に、安心して生活を送っています。
- 「自らの身の安全は自らが守る。」という意識が県民に広まり、地域を災害から守る活動に積極的に取り組む人が増えています。
- 行政や防災関係機関の災害対応力が上がっています。また、企業や自主防災組織の防災活動が活発になっています。

### <概要>

■県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ア	ア	ア	ア	ア
第2位:	イ	イ	イ	イ	イ
第3位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア
第2位:	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
第3位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-33-5 取組33 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

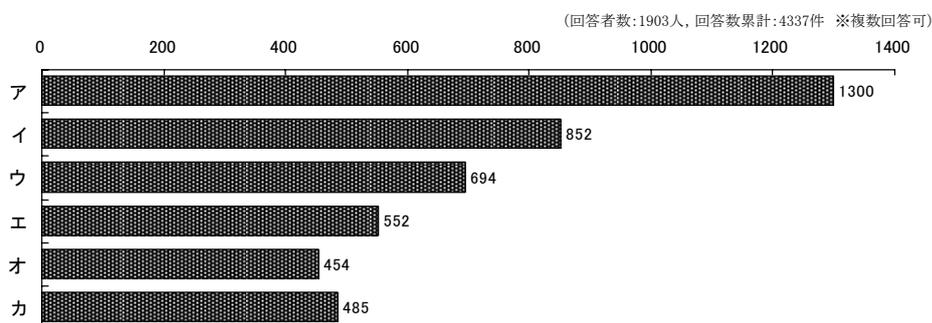
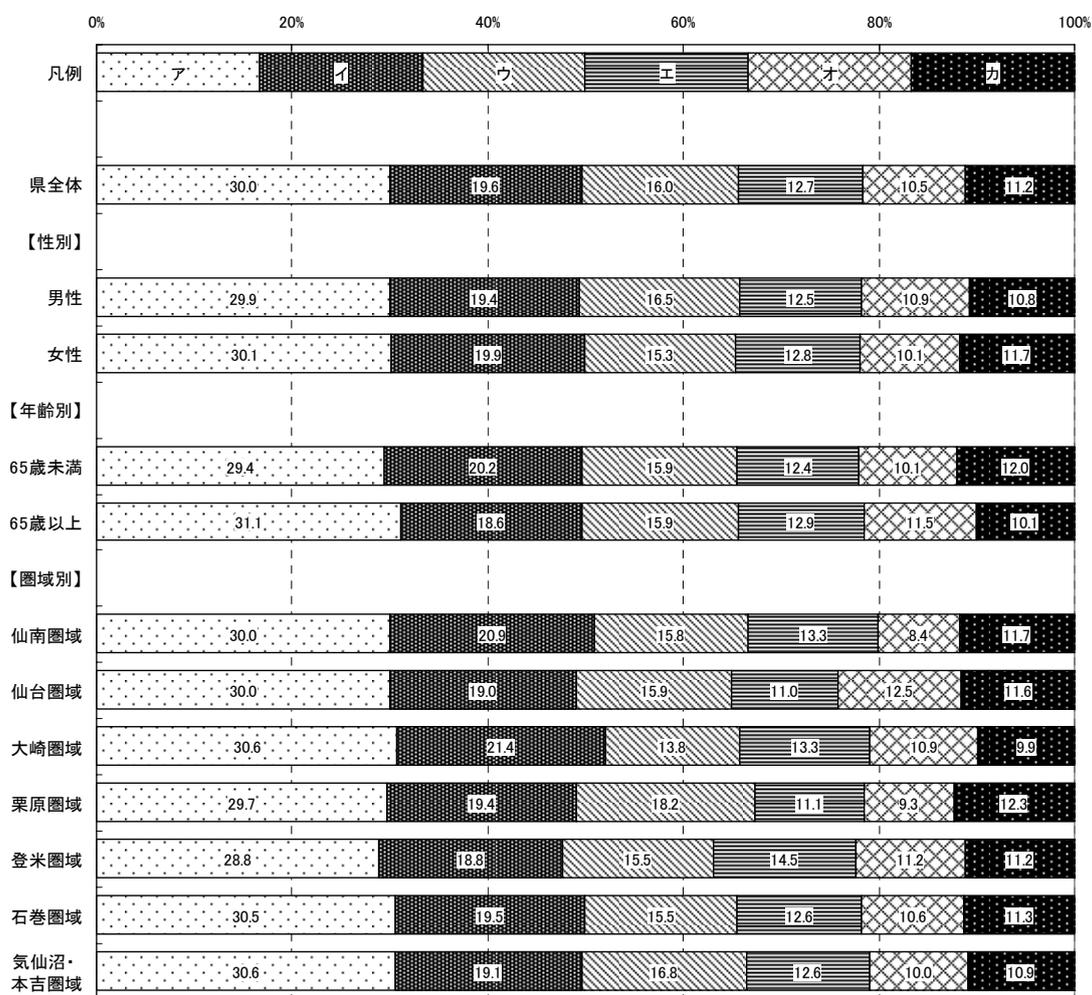


図2-2-33-6 取組33 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

